

# 第2回瀬戸内島旅活性化研究会

2022年7月4日

香川大学大学院地域マネジメント研究科  
本州四国連絡高速道路株式会社



## 第2回 瀬戸内島旅活性化研究会 資料一覧

- 資料1 議事次第
- 資料2 出席者名簿
  
- 資料3 本四高速の地域連携への取組
- 資料4 令和3年度の取組（FAMトリップの実施）
- 資料5 令和4年度の取組
- 資料6 今後の島旅への取組
  
- 資料7 塩飽諸島における島旅活性化～FAMツアー結果とその後の島旅の取組について～  
（株式会社穴吹トラベル）
- 資料8 せとうち島旅の観光振興に向けたJTBの取組紹介（株式会社JTB高松支店）
- 資料9 与島・本島等における新たな滞在型周遊ツアー実施等業務報告書  
（株式会社SETOUCHI SEAWIND）
- 資料10 海洋環境問題等への取組（一般社団法人かがわガイド協会 森田桂治理事）
  
- 資料11 持続可能な観光からエウダイモニクなウエルビーイングを実現する地域活性化へ  
（香川大学大学院地域マネジメント研究科）

## 第2回 瀬戸内島旅活性化研究会

資料1

■日時：2022（令和4）年7月4日（月）15:00～17:00

■場所：レクザムホール 多目的大会議室 「玉藻」  
ZOOMによるオンラインを併用して実施

■議事次第：

1. 開会
2. JB本四高速 後藤社長挨拶
3. 座長挨拶
4. 議題
  - ・JB本四高速による取組状況について
  - ・構成員による取組状況について
  - ・香川大学大学院地域マネジメント研究科による取組状況について
5. 意見交換
6. 閉会

## 第2回 瀬戸内島旅活性化研究会 出席者

資料2

- ・有識者  
〈座長〉 原 真志氏 香川大学大学院 地域マネジメント研究科長  
  
(五十音順)  
相川 恵祐氏 日本放送協会 高松放送局長  
片山 雅大氏 株式会社MELZ 代表取締役  
加藤 琢二氏 一般社団法人 日本旅客船協会 副会長  
小西 智都子氏 株式会社 SETOUCHI SEAWIND 代表取締役  
小林 希氏 株式会社 Officeひるねこ 代表取締役  
森田 桂治氏 一般社団法人 かがわガイド協会 理事  
横山 昌太郎氏 エコツアーガイド
- ・島民の方々 本 島：高木 智仁氏 (有)ロワール商事 代表取締役  
広 島：金崎 敏行氏 丸亀市広島地区連合自治会 会長  
志々島：山地 常安氏 株式会社志々島ダイナミックス 取締役
- ・民間事業者 (五十音順)  
穴吹エンタープライズ(株)、(株)穴吹トラベル、(株)エイチ・アイ・エス、(株)近畿日本ツーリスト中国四国、琴平バス(株)、(株)JTB、JBハイウェイサービス(株)、四国旅客鉄道(株)、ジャンボフェリー(株)、瀬戸大橋総合開発(株)、(株)高松空港(株)
- ・DMO・観光協会等 (五十音順)  
(一社)せとうち観光推進機構、(一社)四国ツーリズム創造機構、児島商工会議所、(公社)香川県観光協会、(一財)丸亀市観光協会、坂出商工会議所
- ・行政機関 (国)  
国土交通省四国地方整備局、国土交通省四国運輸局、農林水産省中国四国農政局、環境省中国四国環境事務所四国事務所
- ・行政機関 (自治体) 香川県、高松市、丸亀市、坂出市、三豊市、土庄町
- ・事務局  
香川大学大学院地域マネジメント研究科、本州四国連絡高速道路(株)



# 議題 JB本四高速による取組状況について

---

- I 本四高速の地域連携への取組
  
- II 令和3年度取組（FAMトリップの実施）
  - 1. 自然環境
  - 2. 歴史文化
  - 3. 食文化
  - 4. その他
  
- III 令和4年度取組
  - 1. FAMの継続実施等
    - (1) アクティブシニア向け
    - (2) 親子向け
    - (3) 提案型ツアーの実施
    - (4) 情報発信の取組
  - 2. せとうち島旅フェス
  - 3. せとうち島塾
  
- IV 今後の島旅への取組

## 次世代への挑戦 ～『インフラ経営』のリーディングカンパニーを目指して～

本州四国連絡高速道路(以下、「本四高速道路」という。)は、瀬戸内の大動脈として多くのお客様にご利用いただき、その経済効果は累積で約41兆円と推計される等、瀬戸内のみならず、我が国の経済・社会の発展に大きく寄与してきました。

一方、高速道路を取り巻く環境は、自然災害の激甚化・頻発化や構造物の高齢化により維持管理の重要性が近年益々増大するとともに、自動運転の実用化などモビリティ社会の変革への対応も求められています。また、人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルスの影響等、社会環境も大きな変化を見せています。さらに、持続可能な世界を目指すSDGsの取組、脱炭素社会へ向けた動きやデジタル革命の進展等、次世代に向けた新しい潮流も加速しています。

こうした変化や潮流に適応し、持続可能な社会に貢献し続けるために、JB本四高速グループは、**インフラを国民が持つ資産として捉え、整備・維持管理・利活用の各段階において、工夫を凝らした新たな取組を実施するという『インフラ経営』の視点から、国民の重要な資産である本四高速道路の潜在力を引き出すとともに、新たな価値を創造し、瀬戸内、ひいては我が国の持続的な発展を支え、SDGsの達成に貢献してまいります。**

重要な社会インフラである本四高速道路の持つ可能性を最大限発揮させ、持続可能な発展に貢献するため、私たちは、インフラ経営のリーディングカンパニーを目指して次世代への4つの挑戦に取り組めます。

### ◆「持続可能な高速道路」に挑戦します。

これからも安全、安心、快適に高速道路を利用していただくため、基盤となる高速道路事業の高度化・効率化の推進、SA・PAのサービス向上に取り組み、「持続可能な高速道路」を実現します。

### ◆「長大橋技術企業」として、「200年橋梁」に挑戦します。

200年以上の長期にわたり利用される「200年橋梁」を実現するため、ロボット化、デジタル化等も駆使して維持管理技術の高度化を推進するとともに、高い技術力を有し国内外から評価される「長大橋技術企業」を目指します。

### ◆「瀬戸内企業」として、「瀬戸内の未来」に挑戦します。

瀬戸内の活性化を図るため、国、地方公共団体、大学、企業、地域に根ざす各種団体等、多様なパートナーとの連携を強化し、「瀬戸内の未来」につながる魅力を創り出します。

### ◆「成長し続ける企業グループ」に挑戦します。

これらに挑み「成長し続ける企業グループ」となるため、多様な働き方に対応し、不断の意識改革や効率的な業務遂行に努め、社員一人一人が向上心を持って生き活きと働く基盤づくりに取り組みます。

今回策定した行動計画2022-2024は、「次世代への挑戦」に向けた第一歩です。

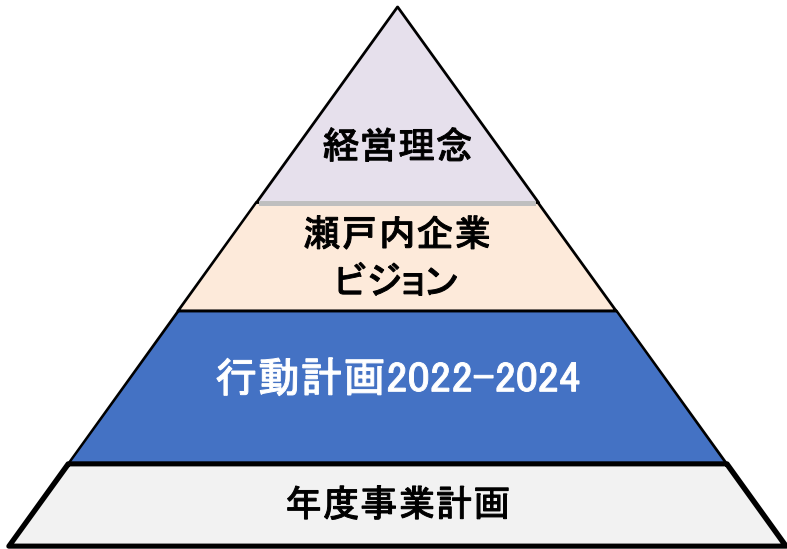
# 行動計画2022-2024の位置づけ・取組内容

**経営理念 Bridge : Communication & Technology**

私たちは、本州と四国を結ぶ世界に誇る橋を良好に保つことにより、人と物の交流と地域の連携を推進し、経済の発展と生活の向上に寄与します。  
また、これまで培ってきた橋の建設、管理技術を活用して、広く社会に貢献します。

- お客様に安全、安心、快適に利用していただけるよう、サービスの充実に努めます。
- 200年以上の長期にわたり利用される橋をめざし、万全な維持管理に努めます。
- 橋梁技術のフロントランナーとして、技術の継承・高度化を推進します。
- 瀬戸内地域の美しい自然を大切に、環境に配慮します。
- 公正で効率的な運営により、経営の安定と成長をめざします。

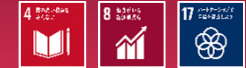
- 瀬戸内企業ビジョン**
- お客様への安全、安心、快適なサービスの提供
  - 200年以上の利用を目指した万全な維持管理
  - 技術の活用
  - 環境への取組
  - 地域との協働
  - 情報の発信
  - 資産の有効活用



行動計画2022-2024における取組内容	
■ 社会環境の変化への対応	P 3~ 5
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動計画2022-2024によるSDGs 達成への貢献</li> <li>・脱炭素社会への取組</li> <li>・DXの推進</li> </ul>	
■ 第1章 持続可能な高速道路への挑戦	P 6~16
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組1. 高速道路事業の高度化・効率化</li> <li>2. 本四高速道路の災害対応力の強化</li> <li>3. 本四高速道路の着実な維持管理</li> <li>4. 事故ゼロへの取組</li> <li>5. SA・PAの快適性と利便性の向上</li> <li>6. モビリティ社会に向けたサービスの進化</li> <li>7. 道路ネットワークの強化によるサービスの向上</li> <li>8. 広域交流への貢献</li> </ul>	
■ 第2章 200年橋梁への挑戦	P 17~22
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組1. 長大橋技術の高度化</li> <li>2. JB本四高速グループの技術による貢献</li> <li>3. 長大橋技術の発信</li> </ul>	
■ 第3章 瀬戸内の未来への挑戦	P 23~28
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組1. インフラツアアの更なる推進</li> <li>2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進</li> <li>3. 島旅の活性化</li> <li>4. サイクリングによる地域発信</li> <li>5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展</li> </ul>	
■ 第4章 成長し続ける企業グループへの挑戦	P 29~33
<ul style="list-style-type: none"> <li>取組1. やりがいのある多様な働き方の実現</li> <li>2. JB本四高速グループを支える人材の成長</li> <li>3. グループ経営基盤の強化</li> <li>4. 地域・社会への貢献</li> <li>5. 多様なパートナーとの連携</li> </ul>	
□ 数値目標	P 34



### 取組1. インフラツアーの更なる推進



- ・「瀬戸内企業」として、「インフラ経営」の視点から、世界に誇る長大橋の塔頂体験等を実施し、地域への集客を促進します。
- ・観光におけるキラコンテンツである長大橋の塔頂体験等と瀬戸内地域に数多く点在するコンテンツを組み合わせた付加価値の高いツアーを実施し、地域の魅力を向上します。



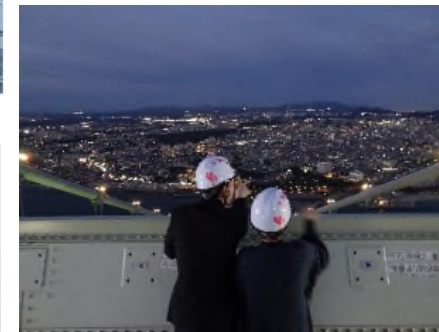
クルーズと組み合わせたツアー



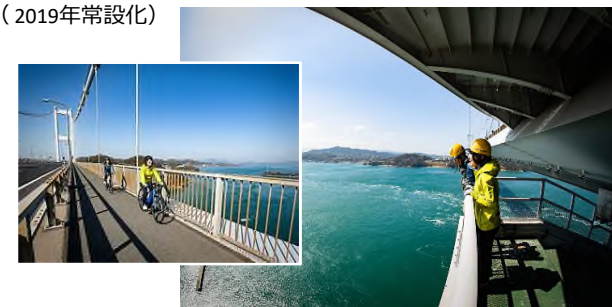
瀬戸大橋スカイツアー（2019年常設化）



明石海峡大橋ナイトツアー



プロポーズプラン（明石海峡大橋）



来島海峡大橋桁外面作業車搭乗体験

# 取組 1. インフラツアーの更なる推進

## (1) インフラツアーの定着・体制構築

明石海峡大橋、瀬戸大橋、来島海峡大橋では、2021年度、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、旅行会社主催ツアーのみ実施。

2022年度は旅行会社主催ツアーに加え、4月23日より、明石海峡大橋及び瀬戸大橋において、個人募集型のツアーを3年ぶりに再開。5月催行率は、荒天等による中止を除き100%。



明石海峡大橋ブリッジワールド



瀬戸大橋スカイツアー



大鳴門橋うずしおウォーク

2021年度開催実績(4月～11月)	
ツアー開催回数	60回(897名)
- 橋別内訳 -	
明石海峡大橋	33回(424名)
瀬戸大橋	24回(413名)
大鳴門橋	3回(60名)



来島塔頂体験と潮流体験を組み合わせたツアー

2022年度開催実績(5月末時点)	
ツアー開催回数	93回(2,240名)
- 橋別内訳 -	
明石海峡大橋	50回(1,507名)
瀬戸大橋	39回(614名)
大鳴門橋	4回(119名)

## (2) 企画提案型ツアーの公募

瀬戸内地域の多様なコンテンツとの新たな組み合わせによる付加価値の高いツアーを実現するため、旅行会社主催ツアー枠において、従来の旅行会社に加え、宿泊、運送、アクティビティなど多様な主体から塔頂体験ツアーのアイデアを求めるため、企画提案型ツアーを募集。

クルーズ



ウェディング



インバウンド



宿泊  
・グルメ





### 取組2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

#### 2-1 「せとうち魅力発見キャンペーン」の展開



- ・地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信し地域内外のつながりを創出する「架け橋事業」の拠点としてSA・PAを最大限活用します。
- ・テナントや地域とともに、地域の食や特産品をテーマにした「せとうち魅力発見キャンペーン」をSA・PAで展開します。



せとうち春のスイーツバトル  
 テーマ  
 『瀬戸内をわたり、おいしい  
 スイーツにめぐり合う』  
 (2022年春開催予定)



「さつまもソフト」



「しまなみレモンと蜂蜜のスフレパンケーキ」



「せとのみずたまソフト」



地域店のSA・PAへの出店

#### 地域の特産品を用いた新メニューの開発



淡路島生しらす丼  
 (淡路島南PA)

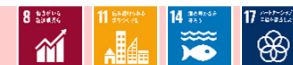


宇和島風鯛めし  
 (来島海峡SA)



### 取組2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

#### 2-2 「地域マルシェ」等の開催



・沿線地域の商工会議所、農協、漁協、観光協会、青年会議所等各種団体や企業等と連携し、SA・PAを地域の情報発信や特産品販売の拠点として活用します。



砥部焼即売会



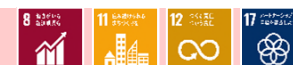
愛媛県西条市の特産品販売



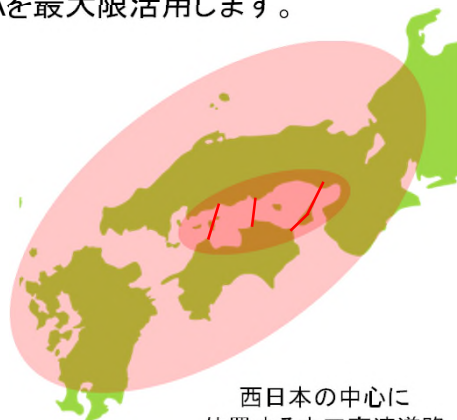
瀬戸田いきいきフェア(瀬戸田PA)

地域と連携した特産品販売(来島海峡SA)

#### 2-3 交流拠点としての活用



・中国四国地方を結び、近畿や九州も含めた西日本の中心に位置する地域的特性を活かし、広域的な交流拠点として3ルート<sup>1)</sup>のSA・PAを最大限活用します。



西日本の中心に位置する本四高速道路



ビジネスマッチング開催イメージ  
「四国観光商談会」(大阪)



バイクフェスタ(与島PA)

# 取組2. SA・PAを拠点とした地域連携の推進

## (1) 「せとうち魅力発見」キャンペーン

地域の食や特産品をテーマにしたイベントを四季を通じてSA・PAで開催し、より多くの方々に瀬戸内の魅力に触れていただく機会を提供することで瀬戸内地域への来訪に繋げることを目的とした「せとうち魅力発見キャンペーン」を令和4年度より開催。

	春	夏	秋
SA・PA店舗テーマ別対決イベント(12店舗)	スイーツ	麺類	丼物
地域の特産品の即売会等	焼き物(丹波焼、備前焼、砥部焼等)		



淡路SA オープニングイベント



### ◆スイーツフェア & SA・PA店舗対決イベント

第1弾として、SAPA店舗による地元の食材や地域の特色を活かした自慢のスイーツによる「せとうち春のスイーツバトル」を開催。(4/2~5/8)  
 スイーツフェア(4/2~4/3)には地域のスイーツ店にも出店いただき、2日間で約4,800人の来客があり、賑わいを見せた。  
 第2弾は「せとうち島旅フェス」を開催(5/14・5/15)。  
7月1日(金)より、第3弾として「せとうち麺フェスタ」を開催。



優勝した淡路SA(上)  
28cmロングエクレア

- 麺フェスタイベントメニュー
- ・オープニングイベント(与島)
  - ・夏の麺バトル
  - ・せとうち麺ラリー
  - ・ナポリンピックinさかいで



スイーツフェア  
淡路SA



スイーツフェア  
与島PA



スイーツフェア  
来島海峡SA



第2位淡路SA(下)  
ストロベリーバーガー



第3位来島海峡SA  
みかんのエスプーマ



# 第3章 瀬戸内の未来への挑戦

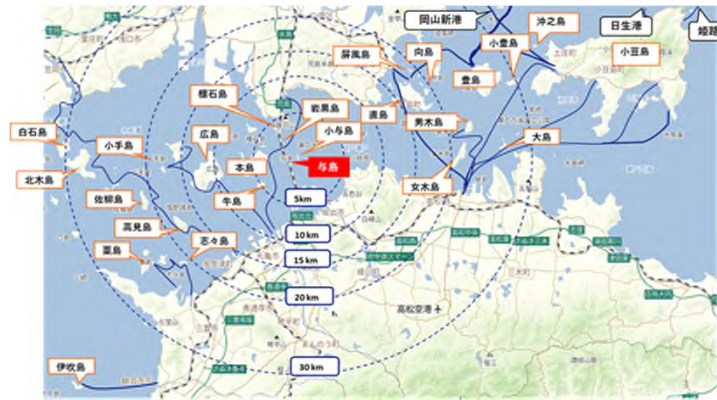
## 取組3. 島旅の活性化

「行動計画 2022-2024」より

### 3-1 塩飽諸島における島旅の実施



- ・瀬戸内地域の優れた景観や島々の歴史・文化に根ざす地域資源を活かした島旅の活性化に、地域と連携し、取り組みます。
- ・塩飽諸島の自然環境、歴史・文化等の地域資源を活かした島々の周遊ツアーを実施します。



大楠(志々島)



海洋ごみ調査



海洋ごみ調査座学



ジオツアー

### 3-2 「せとうち島旅フェス」の開催



- ・島旅の拠点となる与島PAにおいて、島旅の活性化を目的としたイベントを開催し、地域とともに島旅を盛り上げます。



多島美を望む与島PA (香川県)



「与島を拠点とした島旅クルーズ」



地域の特産物の販売  
魅力情報の発信



「与島から魅力発信！  
せとうちフォトコンテスト」



# 取組3. 島旅の活性化

## (1) 塩飽諸島における島旅の実施

塩飽諸島の自然環境、歴史・文化等の地域資源を活かした島々の周遊ツアーの造成に向けたモニターとして、アクティブシニアツアー(4/23.24)、親子ファミツアー(5/28.29)を実施。



塩飽勤番所(本島) 天空の花畑(志々島)  
アクティブシニアツアー



水ランプ(粟島) 海の家(六口島)  
親子ファミツアー



海洋環境問題・SDGs等をテーマにした環境教育ツアー(小中学生親子)

## (2) 「瀬戸内島旅活性化研究会」の開催

香川大学とともに、行政、観光関係者、島民等が参加する「瀬戸内島旅活性化研究会」を7月4日(月)に開催。



瀬戸内島旅活性化研究会

## (3) 「せとうち島塾」の開講

さぬき広島において、クリーンウォーク(登山道清掃)・ビーチコーミング(海ゴミ調査)等を通じて島の方々と交流し、SDGsの取組を行う「第1回せとうち島塾」(5/16.17)を開講。継続的に実施していくこととしており、第2回を10月、第3回を11月に開講予定。



島民の指導の下、登山道  
クリーンウォーク



海ごみリーダーの指導による  
ビーチコーミング

## (4) 「せとうち島旅フェス2022」の開催

5月14日(土)・15日(日) せとうち魅力発見キャンペーンの第2弾「せとうち島旅フェス2022」を与島PAで開催し、せとうちアンバサダー就任式などを実施。2日間で約15,000名の立寄があり、葉加瀬太郎氏のミニライブでは、約600人がステージ前に集まるなど、大変多くのお客様にご来場いただき盛況であった。



【概要】  
 日時 2022年5月14日(土)・15日(日)  
 10:00~16:00  
 会場 E30 瀬戸中央自動車道  
 与島パーキングエリア  
 主催 本州四国連絡高速道路株式会社  
 協力 JBハイウェイサービス株式会社  
 後援 一般社団法人日本旅客船協会  
 国土交通省四国地方整備局  
 国土交通省四国運輸局  
 四国経済連合会 NHK高松放送局  
 総合プロデューサー 小林 希さん(旅作家)



ステージ前の様子



ステージイベントの様子



出展ブースの様子

当日実施した、島旅クルーズやインフラツアーについても1,000人を超える参加者があり、島旅やインフラツアーのポテンシャルを確認した。



アンカレイジ見学



与島橋ウォーク



塔頂体験



瀬戸大橋くぐりクルーズ



笠島地区散策



クルーズ航路



### 取組4. サイクリングによる地域発信

#### 4-1 サイクルルートとしての環境整備



- 2019年11月に西瀬戸自動車道が「ナショナルサイクルルート」に指定されました。日本を代表し、世界に誇りうる自転車道として、サイクリストの皆様が安全かつ安心して楽しめるように、統一感のあるピクトサインを設置するなど、利用環境の向上に取り組みます。



ナショナルサイクルルート発表



ロゴマーク設置



注意喚起

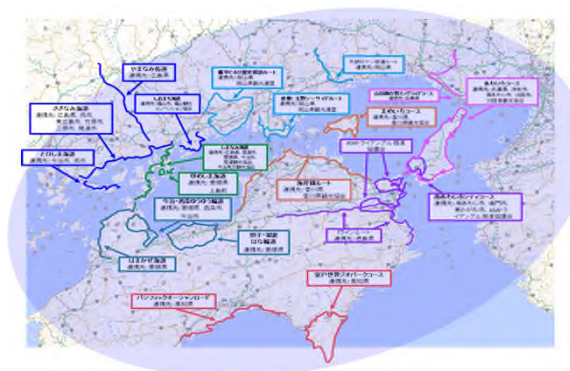
#### 4-2 瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進



- 西瀬戸自動車道や淡路島一周(「あわいち」)、四国一周など、瀬戸内地域全体に存するサイクリングルートをネットワーク化し、サイクリングを通じて地域の魅力を国内外に発信します。
- ネットワーク化の推進に向け、瀬戸内地域の地方公共団体、地方整備局、地方運輸局、経済団体やサイクリングルートを管理・運営する主体等とともに「Setouchi Velo 協議会(仮称)」を設置し、サイクリング文化等の普及・促進や国内外に向けた情報発信に取り組みます。



サイクリングしまなみ



瀬戸内地域周辺の主なサイクリングコース

Setouchi Velo 協議会(仮称)



Velo: 自転車(フランス語)



# 取組4. サイクリングによる地域発信

## (1) 瀬戸内地域のサイクリングルートのネットワーク化の推進

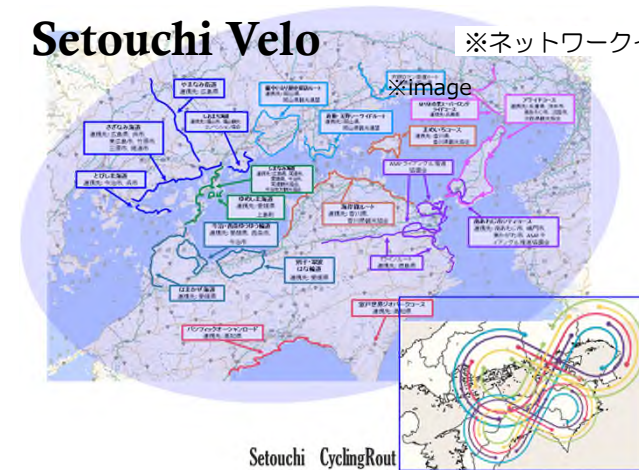
Setouchi Velo協議会(瀬戸内地域サイクリングネットワーク協議会)設立に向けて、兵庫、岡山、広島、徳島、香川、高知、愛媛県及び近畿・中国・四国地方整備局、中国・四国運輸局、神戸運輸監理部、中国・四国経団連を当初メンバーとし、設立準備会を開催。

※第1回 2月16日、第2回 3月25日、第3回 5月10日

設立準備会においては、第1回「せとうちネットワーク構想の考え方」第2回「主な活動及び活動ロードマップ」、第3回「2022年活動計画」を関係者間で共有。

## Setouchi Velo

※ネットワークイメージ



## (2) 「Setouchi Velo協議会」の設置と活動計画

10月29日開催予定のSetouchi Veloサミット及びSetouchi Velo協議会の設立に向けて、ネットワークマップのマッピング(~9月)、受入れ環境を理解・整備するための担当者各種講習会・体験会(6月~9月)、キャラバン隊による各県コース試走及び県知事表敬(10月)を実施予定。今後、関西・大阪国際万博での周知に向けたサイクリングツアーコースを企画造成を行う。



SetouchiVelo協議会設立総会



SetouchiVeloサミット

- 開催日：2022年10月29日(土) PM  
※「サイクリングしまなみ2022」前日に開催
- 会場：今治国際ホテル
- 構成員：兵庫、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知県知事  
中国、四国経済団体連合会長  
近畿、中国、四国地方整備局長  
中国、四国運輸局長、神戸運輸管理部長  
※その他関係市長等

### 取組5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

#### 5-1 「せとうち美術館ネットワーク」の取組



- ・瀬戸内地域に存する美術館・博物館81施設のネットワーク（「せとうち美術館ネットワーク」2008年に6施設でスタート）のつながりを深化・発展させ、文化・芸術面から瀬戸内地域の活性化に貢献します。



せとうち美術館マップ



平山郁夫美術館



猪熊弦一郎現代美術館



大原美術館



東山魁夷せとうち美術館



大塚国際美術館

#### 5-2 ネットワークの新たな展開



- ・参加施設間の相互支援、発信力の強化、対話機会の創出等を通じ、ネットワークの活用による地域活性化を図ります。
- ・定期的に行われる「せとうち美術館サミット」では、テーマ別会合等による相互交流、情報交換を行います。新たな取組として、参加施設と企業等をつなぐビジネスマッチングの実施や情報誌・Web等を活用し、施設と地域の魅力を発信します。



せとうち美術館サミット  
特別講演会



テーマ別会合の実施



情報誌の発刊



ホームページを利用した  
情報交換掲示板



冊子のパスポート化・  
デジタルスタンプラリー



# 取組5. 「せとうち美術館ネットワーク」の深化・発展

## (1) 「せとうち美術館サミット」の開催

今年度は岡山市芸術祭と連携し、9月、10月に特別講演会を開催、11月には、ネットワークに参加する美術館・博物館が一堂に会し、相互交流や情報交換等を行う「せとうち美術館サミット」を開催を予定。

【第14回せとうち美術館サミット 開催(案)】

◎開催日：2022年11月

◎開催会場：岡山市内

【特別講演会】

講師：調整中

【定時総会】

2021年度・2022年度上半期事業報告

2022年度下半期・2023年度取組紹介



サミット特別講演会(昨年度の様子)



テーマ別会合(昨年度の様子)

## (2) ネットワークの新たな展開

### ◆ (仮称)せとうち美術館ネットワークペーパーの発刊

参加施設の特別展・企画展のチラシ・ポスターと本四高速の地域連携の取組を紹介したタブロイドペーパーを新たに発行(4/27)。テーマ別モデルコースの紹介など行うことにより、新たな観光コンテンツとしての魅力を創出し、施設間の連携を深め周遊を促進。今後、四半期毎に発行予定。

### ◆ ビジネスマッチング機会の創出

### ◆ インフラツアーとの連携

### ◆ SA・PAとの連携

塔頂体験ツアー、SA・PA施設、クルーズ等を組み合わせた美術館を対象としたモニターツアー(4/22 明石海峡大橋、5/27 瀬戸大橋)を実施。モニターツアーにて、加盟美術館と旅行会社や宿泊施設・各種メディア、出版社等との交流機会を創出。また、「せとうち島旅フェス」に美術館主催のワークショップや特別展のPRなどに出展。



(仮称)せとうち美術館ネットワークペーパー



モニターツアーの様子



「せとうち島旅フェス」に美術館主催のワークショップ

ワークショップ及び研究会での議論を踏まえ、様々なターゲット設定による塩飽諸島の地域資源を活かした自然環境、歴史文化、食文化の観点からの体験プログラムを企画。

参加者からの意見を踏まえて改善され、旅行商品の造成につなげるため、FAMトリップを実施することとし、令和3年度は、コロナの影響もあり、主にアドベンチャーツーリズム・サステイナブルツーリズムの観点からのFAMトリップを実施。

### 1. <自然環境>

- (1) 讃岐広島ジオプログラム
- (2) 讃岐広島・本島シーカヤック・サイクリング体験プログラム
- (3) 志々島・粟島自然体験プログラム

※環境省の国立公園・国定公園での滞在型周遊プログラム推進事業により執行

### 2. <歴史文化>

本島歴史体験プログラム

### 3. <食文化>

讃岐広島・本島新名物料理・食文化体験プログラム

### 4. <その他>

インバウンド向けジオと食のツアー

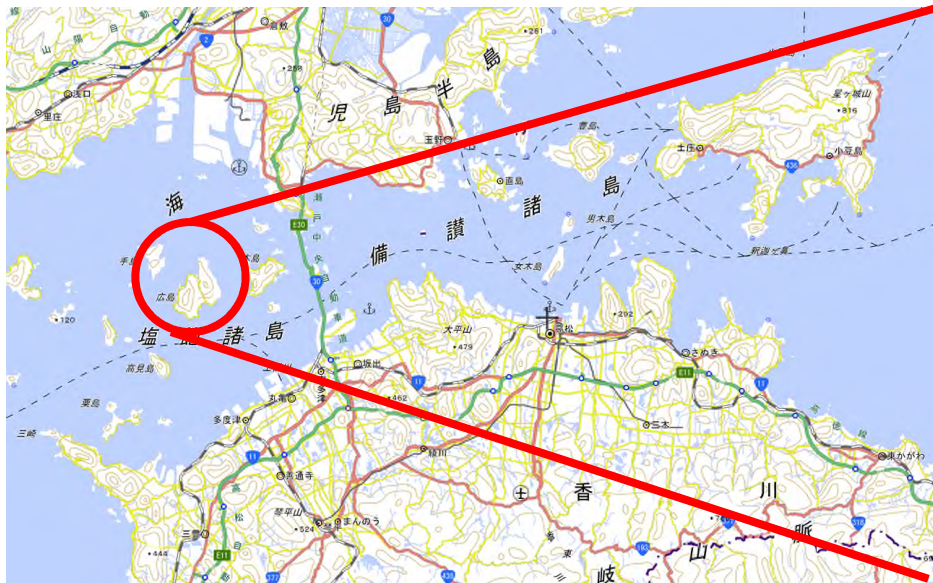


# 1. <自然環境> (1) 讃岐広島ジオプログラム

【目的】讃岐広島における自然を活用したアドベンチャーツーリズムとして、ジオツアーを実施し、今後の事業展開につなげる。

【実施概要】2021年11月23日 旅行会社・ジオツアーガイドを対象に実施

- ・「天空の石庭」ともいえる王頭砂漠ができた理由等について、ブラタモリのような謎解きを組み入れたジオプログラムの企画。
- ・登山の道中から見える瀬戸内海の絶景も含め、瀬戸内海の生い立ちやジオの観点から見た島の歴史を学ぶツアー構成とした。



王頭山・王頭砂漠



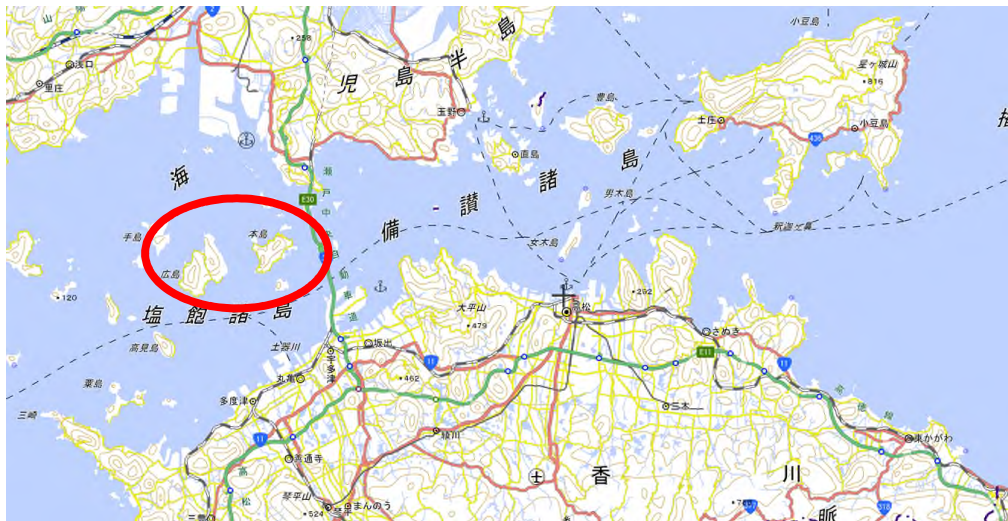
ジオ講座



# 1. <自然環境> (2) 讃岐広島・本島シーカヤック・サイクリング体験プログラム

【目的】塩飽諸島における新たなアドベンチャーツーリズム企画に向け、シーカヤック・サイクリングツアーを実施し、今後の展開に繋げていくことを目的とする。

- 【実施概要】2021年11月15日・16日 旅行会社・地元ガイドを対象に実施
- ・瀬戸内海の美しさと穏やかな自然の快適さを楽しむシーカヤックモデルプログラムの企画。
  - ・笠島地区の古い街並みや塩飽の歴史を感じていただくサイクリングプログラムの企画。



シーカヤック (広島)



JB 本四高速



サイクリング (本島)



# 1. <自然環境> (3) 志々島・粟島自然体験プログラム (親子・教育関係者向け)

- 【目的】
- ・小中高校生を対象とする教育ツアーでの実施可能性の検証
  - ・教育ツアー研修要素として、旅行商品化の可能性を探るよう検証目的として実施。

- 【実施概要】
- 2021年10月9日・10日 三豊市在住の親子を対象に実施
  - 2021年11月27日・28日 高校教師、旅行会社等を対象に実施

- ・瀬戸大橋塔頂体験で、瀬戸内の多島美を体感。
- ・瀬戸内海屈指の大楠がある志々島で、島民ガイドと自然に触れる山歩き。
- ・海洋環境問題を考えるきっかけとして、「海ほたる体験」、「海ごみ調査」、シーグラスを使っ  
ての「水ランプ作り体験」。





# 1. <自然環境> (3) 志々島・粟島自然体験プログラム

親子対象 (10月9日、10日)



瀬戸大橋塔頂体験  
(与島)



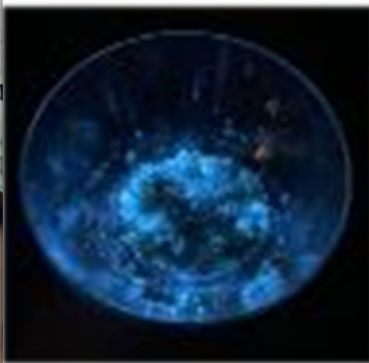
瀬戸内海クルーズ



大楠 (志々島)



海ほたる体験 (粟島)



海ごみ調査 (粟島)



# 1. <自然環境> (3) 志々島・粟島自然体験プログラム

教育関係者・旅行会社対象 (11月27日、28日)



ビーチコーミング (粟島)



海ごみ講座 (粟島)



水ランプ作り体験 (粟島)



天空の花畑 (志々島)



郷土料理のランチ (志々島)



島民との意見交換 (志々島)



FAM実施後造成されたツアー

### 3S626 瀬戸内海の絶景パノラマへご案内!

## 絶景!瀬戸大橋塔頂ツアー

普段立ち入ることのできない  
海面175mの塔頂  
多度津徳武家屋敷 家中含で味わう  
**せとうち茶懐石料理**  
瀬戸の文脈に在る建築  
五色台の山上に浮かぶ「海賊の城」

■出発日 **11月13日・14日・19日**

■割引後お支払い旅行代金(おひとり) ■旅行代金  
**13,990円 18,990円**

■新かがわ割キャンペーン: 5,000円割引 ■新かがわ割クーポン: 2,000円

1日目  
各地発(津田6:40→高松駅7:40→宇多津)→瀬戸大橋スカイツアー(与島パーキング発着・所要約3時間)→多度津徳武家屋敷 家中含(プレートの上に美しく盛り付けられた茶懐石)→瀬戸内海歴史民俗資料館(瀬戸の暮らしの原風景を知る)→各地着(高松18:00頃) ※食事:昼食1回

【運行バス会社:こどもバスまたは同等クラス】添乗員:高松駅→高松駅前行 最少乗行人員:10名  
小学生以下はご参加できません。

### 3S628 粟島いろはカルタをもとに巡る

## アートの島 粟島

島ガイド  
ルポール粟島 支配人  
**平木さん**が  
ご案内!

距離:約3km 時間:約3時間  
旬の食材に **海鮮ランチ**  
こだわった

■出発日 **11月20日**

粟島いろはカルタのお土産付き!

■旅行代金 (おひとり) **11,990円**

1日目  
須田港(10:25集合/10:45発)~<定期船>~粟島港~ルポール粟島(海鮮ランチのご昼食)~粟島海洋記念館(日本初の海員養成学校)~粟島芸術家村(瀬戸内国際芸術祭で制作されたアート作品)~梵音寺のタブノキ(県の保存木に登録されている巨木)~粟島港~<定期船>~上新田港~ふいふいガーデン(浮きを使った手作りのアート作品)※添乗員がご案内します...上新田港~<定期船>~須田港着(17:30頃) ※食事:昼食1回

添乗員:須田港~須田港同行 最少乗行人員:5名

### 3S612 泊まって地元再発見!! 2日目はルポール粟島 支配人「平木さん」ガイドで島歩き

## 粟島 島時間

非日常の離島空間  
ルポール粟島 宿泊

島散策のおともに!  
「えっちゃんの絵本」  
プレゼント!

島に泊まるからこそできる体験!

- ①神秘的な海ほたる鑑賞
- ②西浜の夕日
- ③空気が気持ちいい!早朝からの島さんぽ
- ④防波堤からの日の出鑑賞

■お支払い旅行代金(おひとり) ■旅行代金  
**20,000円 23,000円 25,000円 28,000円**

出発日	お支払い金額(おひとり)	
	2~3名1室	1名1室
<b>11月5日 残りわずか!</b>	<b>20,000円</b>	<b>23,000円</b>

■新かがわ割キャンペーン: 5,000円割引  
■新かがわ割クーポン: 2,000円

1日目  
須田港集合(12:40発)~<定期船>~粟島港~粟島海洋記念館(日本初の海員養成学校校舎跡)~粟島芸術家村(クジラアートご見学)~自由散策~西浜(シーグラス拾い&海に沈む夕日をご見学)~ルポール粟島で海鮮料理のご夕食~海ほたるご鑑賞

2日目  
希望者の方は朝6時から防波堤からの日の出鑑賞~水ランプ作成~粟島港~<定期船>~上新田港~ふいふいガーデン(いろんな表情をしたブイ人形を見学)~京の浜(瀬戸内の美しい海が広がります)~プラジャー館~上新田港~<定期船>~粟島港~ルポール粟島(ご昼食)~粟島港~<定期船>~須田港(14:45着・解散) ※食事:朝食1回、昼食1回、夕食1回

※写真のお料理は2人前です。※客室はバストイレ付です。※「速乾型使用」はコロナウイルス感染症拡大防止の為、休載しております。  
※「海ほたる」は条件によっては見れない場合がございます。予めご了承くださいませ。 添乗員:須田港~須田港同行 最少乗行人員:10名



## 2. <歴史文化> 本島歴史体験プログラム

【目的】 塩飽諸島等における塩飽大工の建築を学ぶ学生(以下「建築学生」という。)を対象としたモニターツアーを実施し、その成果を取りまとめて、その成果を今後の事業展開に繋げて行くことを目的とする。

【実施概要】 2021年11月28日～11月29日

建築学科の学生のゼミ旅行の本島(塩飽大工建築の見学)への誘致に向け、課題の整理を行うために、関西より先生・学生による視察を実施

○参加者

京都芸術大学 家成俊勝教授、神戸大学 槻橋修准教授、大阪芸術大学 木村吉成准教授  
神戸大学大学院 9名





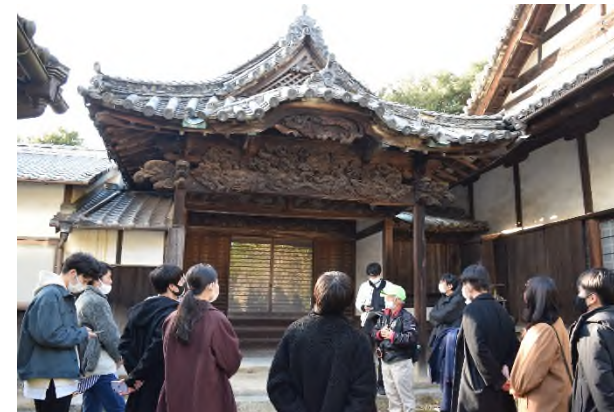
## 2. <歴史文化> 本島歴史体験プログラム



瀬戸大橋塔頂体験(与島)



スペシャルランチ(与島PA)



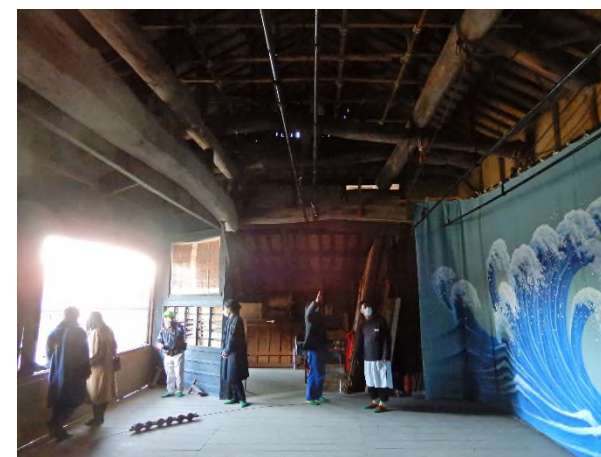
正覚院(本島)



塩飽勤番所(本島)



吉田邸(本島)



木鳥神社・千歳座(本島)

## 2. <歴史文化> 本島歴史体験プログラム



猪熊弦一郎現代美術館



四国村



香川県庁東館



旧香川県立体育館



栗林公園(掬月亭)



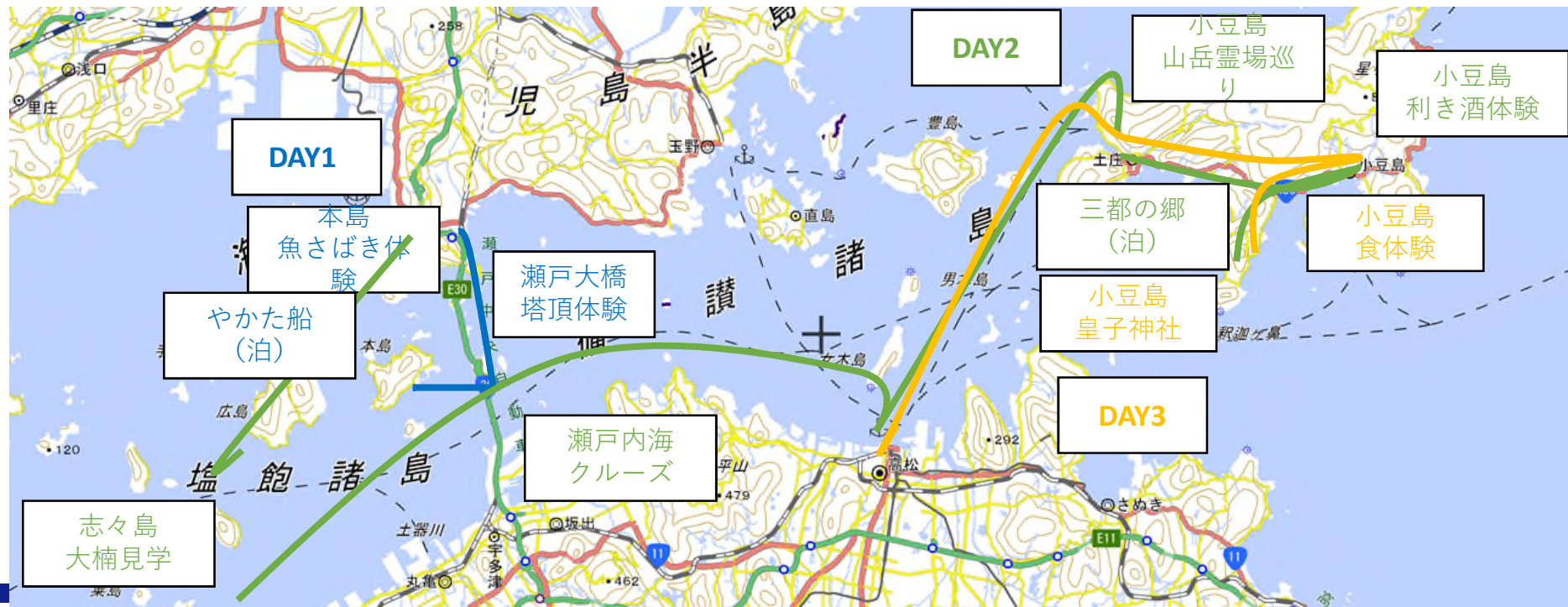
## 4. <その他> インバウンド向けジオと食のツアー

【目的】 インバウンド及び国内旅行者をターゲットとした、島しょ部におけるコンテンツを検証し、商品化につなげることを目的とする。

【実施概要】 2021年11月29日～12月1日 旅行会社・OTA・DMO等を対象に実施

- ・アフターコロナを見据え、インバウンドをターゲットとした滞在型ツアーの企画可能性について検証。
- ・魅力度向上の観点から、塩飽諸島に加え、インバウンドの知名度の高い小豆島との組み合わせ
- ・全体を束ねるテーマとして、「ジオと食」を設定。

初日に瀬戸大橋塔頂体験から本島での魚さばき体験、2日目に志々島の大楠見学と小豆島の山岳霊場巡り、利き酒体験、3日目に皇子神社のマンツル直結安山岩見学、オリーブオイルテイasting、押し抜き寿司体験等を実施。





## 4. <その他> インバウンド向けジオと食のツアー



瀬戸大橋塔頂体験



魚さばき体験（本島）



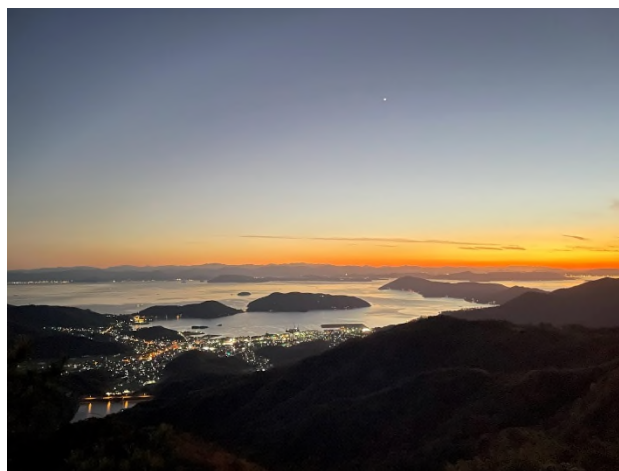
大楠（志々島）



碁石山（小豆島）



清滝山（小豆島）



四方指からの夕景（小豆島）



マントル直結安山岩  
（小豆島）



#### 4. <その他> インバウンド向けジオと食のツアー



利き酒体験（小豆島）



オリーブオイルテイस्टینگ  
（小豆島）



押し抜き寿司体験（小豆島）

参加者からは、以下のようなご意見をいただきました。

- ・コンテンツとしては、どれも素晴らしい。
- ・本島での宿泊（笠島地区）は、塩飽大工の造りで、インバウンドには喜ばれると思う。
- ・島での電波環境（WIFI）の整備が必要。
- ・クルーズは魅力的だが、移動距離が長いと疲労等の課題がある。
- ・「ジオと食」という内容で、小豆島の特色が理解でき、商品としても活用可能。
- ・新たなコンテンツとして、他地域へのプロモーションも可能。

### 1. FAMの継続実施等

- (1) アクティブシニア向けFAM
- (2) 親子向けFAM
- (3) 提案型ツアーの実施
- (4) 情報発信の取組

### 2. せとうち島旅フェス

- (1) せとうち島旅ステージ
- (2) せとうちマルシェ
- (3) アンカレイジ見学会
- (4) 与島発クルーズ

### 3. せとうち島塾



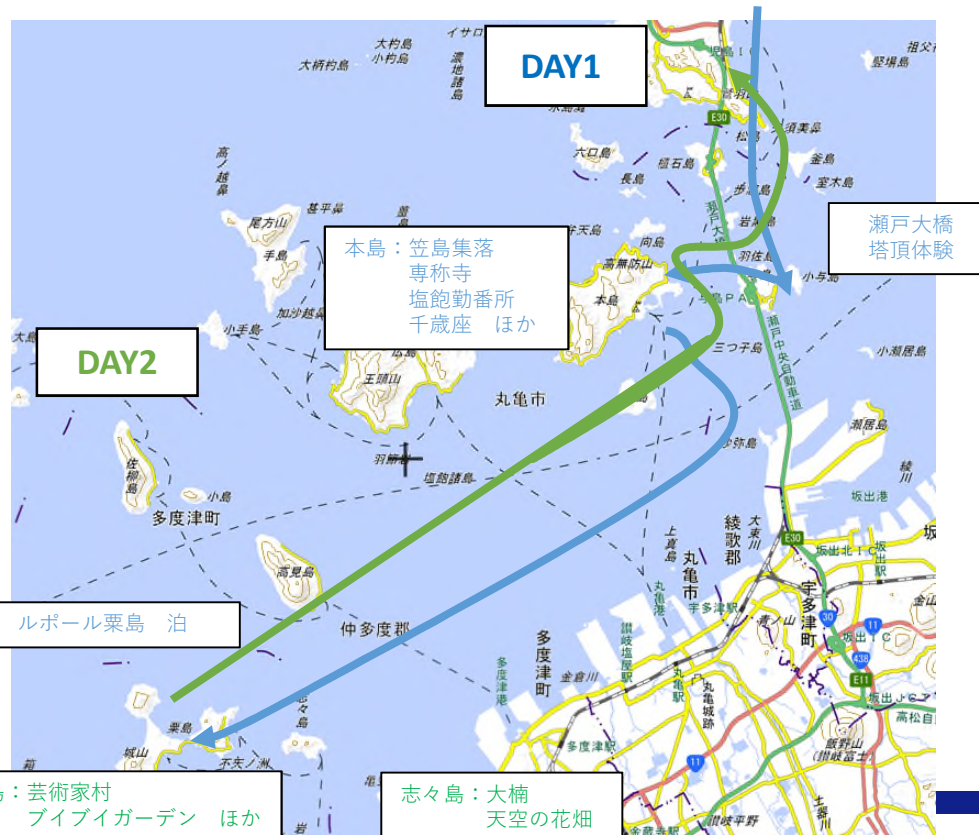
# 1. FAMの継続実施等

## (1) アクティブシニア向けFAM（4/23・24 与島・本島・栗島・志々島）

【目的】古来、日本の歴史における要衝であった瀬戸内海で、その面影を辿り、浪漫あふれる島旅とし、ゆっくりと過ごして悠久の時に思いを馳せながらも、歴史的スポットを巡り、知的好奇心を満たすことを目的として実施。

【実施概要】2022年4月23日・24日 アクティブシニア・旅行会社・メディア等を対象に実施

- ・当社が主催する周遊観光WSの有識者を招待
- ・アクティブシニア向けとして、歴史・文化を感じる街歩き・山登りなど、活動的なコンテンツを中心としたツアー構成とした。



NO	氏名	性別	所属	担当、役職等	業種	居住地
1	山本 和彦	男	(株)ナイバ	代表取締役	アクティブシニア	丸亀市
2	安田 貞雄	男	(株)セクターエイティエイト	代表取締役	アクティブシニア	大阪市
3	矢吹 勝利	男	しもついでビレッジ(株) (むかし下津井回船問屋前館長)	本部長	アクティブシニア	倉敷市
4	CHIZU (山田智津)	女	CHIZU STYLE		SNSインスタグラマー	東京都
5	柴田 博	男	朝日放送テレビ	総合編成局アナウンサー 担当部長	テレビ系メディア	大阪市
6	川池 勇人	男	(株)エフエム香川	営業企画部 アクティングリーダー	FM メディア	高松市
7	星野 織絵	女	(株)JTBパブリッシング	ライフスタイルメディア編集部 ノジュール編集部	出版系メディア	東京都
8	田代 和弘	男	一般社団法人 せとうち観光推進機構		DMO	広島市
9	中島 正樹	男	(株)JTB神戸支店	営業3課課長代理	旅行会社	神戸市
10	万代 祐梨子	女	山陽新聞旅行社	コミュニケーション本部 旅行部 主任	旅行会社	岡山市
添乗員	川崎 彰子	女	(株)JTB丸亀ゆめタウン店			丸亀市
添乗員	高木 進	男	(株)JTB高松支店			倉敷市
主催側	【関係者及びスタッフ側】					
1	刀根 浩志	男	観光ビジネス総研	代表取締役社長	旅行会社	大阪市
2	千葉 深香	女	地球の歩き方総合研究所	研究員	出版社	吹田市
3	森 毅彦	男	本州四国連絡高速道路株式会社	取締役常務執行役員	高速道路会社	神戸市
4	白井 武	男	本州四国連絡高速道路株式会社	広域周遊観光渉外部 部長	高速道路会社	神戸市



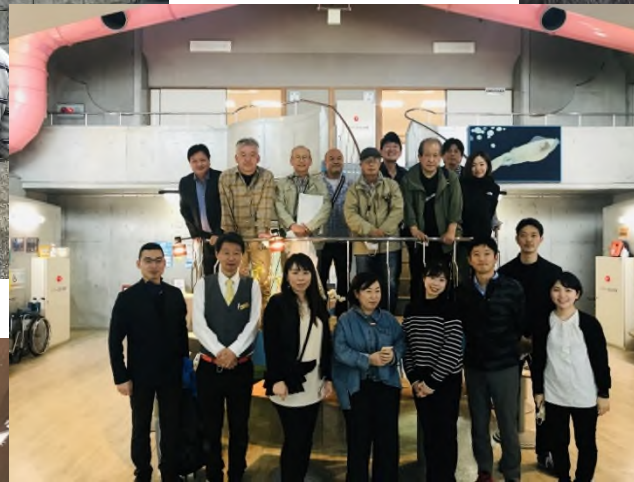
(1) アクティブシニア向けFAM (4/23・24 与島・本島・粟島・志々島)



吉田邸 (本島)



塩飽勤番所 (本島)



芸術家村 (粟島)



天空の花畑 (志々島)



## (1) アクティブシニア向けFAM (4/23・24 与島・本島・粟島・志々島)

○本FAMにおいては、アクティブシニア層・旅行会社だけでなく、メディア・有識者にもご参加いただき、多くのご意見をいただいた。

### <課題>

- ・雨天、悪天候に対する次善策の配慮  
消費者視点、サイドに立った配慮があればツアー前に考慮、設定すべきことはもっと踏み込んだ対策や提案を用意。
- ・ツアー参加者への更なる情報提供、事前説明  
不十分であることがアンケート等からは伝わってきた。歩く距離、疲れ方などの事前告知にも丁寧さが求められる。
- ・食に関するコンテンツ提供  
地元事業者側が企画、提供すべきところであるが、ツアーを企画する側としてもその努力、要請を極力働きかけ、実現に向けて交渉、サポートをしていくことで、地域の魅力発信を強化する責任を果たすべき。
- ・土産品、島での買い物対策  
地元事業者側が企画、提供すべきところであるが、ツアーを企画する側としてもその努力、要請を極力働きかけ、実現に向けて交渉、サポートが必要。
- ・島の方々とのコミュニケーション対策  
島民の方と自然にコミュニケーションが取れるような設定が期待されていて、もう少し事前努力が必要。
- ・ツアーターゲット設定に対する更なる事前対策  
ツアー実施をしたことにより、アクティブシニア層からのニーズや期待がもっと細分化や磨き上げに工夫、改善が必要であることがかなり見えてきた。

### <島の魅力創出等に係るポイント>

- ・塩飽諸島としての潜在的な魅力の再発見とその発信努力
- ・島の魅力を伝えるガイド、人材の育成、継承の必要性
- ・アイランドホッピングを可能とするアクセスの改善努力
- ・食の魅力、付加価値向上への取組の期待
- ・島の生活や文化を生きがいの人に伝えるコミュニケーション手段、手法の創出
- ・瀬戸大橋と島の魅力を結びつけるアイデアと工夫改善

## (2) 親子向けFAM (5/28・29 与島・六口島・粟島)

【目的】 子供が自然に触れ、島の人と交流し、自分の手で何かを作る体験をすることで、豊かさの価値を肌で感じたり、自然環境問題を考えるきっかけになったりする島旅となることを目的として実施。

【実施概要】 2022年5月28日・29日 メディアに勤務する親子等を対象に実施。

- ・ 小学校高学年～中学生の親子4組が参加。
- ・ 当社が主催する周遊観光WSの有識者を招待。
- ・ 親子向けということで、海遊び、海洋環境関係体験を中心としたツアー構成とした。





## (2) 親子向けFAM (5/28・29 与島・六口島・栗島)



瀬戸大橋塔頂体験  
(与島)



象岩 (六口島)



海の家 (六口島)



海ほたる鑑賞 (栗島)



ビーチコーミング  
(栗島)



水ランプづくり (栗島)

## (2) 親子向けFAM (5/28・29 与島・六口島・栗島)

---

### 【参加者からのご意見】

#### <感想>

- ・ 昔の町並みやのんびりした空気など、心と体がリフレッシュできた。
- ・ ウミホテルの生態や発行のメカニズムを知り、勉強になった。
- ・ 海ごみ調査を通じて自然環境を守る大切さと身近な問題であることを認識できた。

#### <課題>

- ・ 船の移動時間が長く、子供には疲れる。
- ・ なぜアイランドホッピングなのか、解説が必要。
- ・ 島の方々との交流時間が欲しい。

### 【今後の取組】

・ FAMの継続実施について、今後は、これまでのFAMツアーにおける課題解決を図るとともに、引き続き多様なFAMツアーを実施することにより、島旅の旅行商品造成に取り組むとともに、FAMツアーを踏まえた島々の観光コンテンツの情報発信に取り組んでいくこととしている。



### (3) 提案型ツアーの実施

瀬戸内地域の多様なコンテンツとの新たな組み合わせによる付加価値の高いツアーを実現するため、地域の事業者等からの提案を受け、キラーコンテンツである瀬戸大橋塔頂体験等と組み合わせたツアーを実施予定。

(想定される例)

- ① 海上タクシー・クルーズ事業者との連携  
ランチや島内の宿泊施設と組み合わせたプラン



海上タクシー・クルーズ



地元料理のランチ

- ② SA・PAのイベントと連携したツアー  
島旅フェスをまるごと楽しめるプラン（ステージ予約席など）



島旅ステージ会場の様子



アンカレイジツアー



クルーズ

### (3) 提案型ツアーの実施

- ③ 企業研修ツアー（クリーンウォーク、海ごみ調査）  
島での活動を通じて、SDGsを学ぶ場を提供するプラン



クリーンウォーク



海ごみ調査

- ④ 教育関係者ツアー（海ごみ調査・海ほたる鑑賞）  
修学旅行等に島での経験を盛り込んだプラン



海ほたる鑑賞

- ⑤ インバウンド招聘ツアー  
⑥ ツアー実施に際し、情報発信方法に特徴のあるもの



## (4) 情報発信の取組

FAMツアーを踏まえた、島旅の旅行商品造成に取り組むとともに、魅力的な島旅ツアーの情報発信に取り組む。

スマートフォンやタブレット端末がますます普及することが見込まれるため、即時性や利便性が高いデジタル媒体の活用により、効果的に情報を発信する。

- ① 本四高速のせとうち魅力発見キャンペーンの特設サイト「らぶせとうち」に島旅のページを開設。
- ② 「地球の歩き方」が運営する「Good Luck Trip」に島旅のモデルコースを作成している瀬戸内特集内に島旅ページを作成。島の観光コンテンツやモデルコースを紹介するとともに、SEO対策も実施し、インバウンドも含めた認知度向上を図る。



らぶせとうちトップページ



らぶせとうち麺フェスタページ



Good Luck Trip瀬戸内特集ページ



Good Luck Trip島旅ページ

Bridge : Communication&Technology

## 2. せとうち島旅フェス

地域と連携し、瀬戸内の魅力を発見・発信することを目的とする「せとうち魅力発見キャンペーン」の第2弾として、「せとうち島旅フェス2022」を与島PAで開催。

テーマは、「島旅 島々と出会って学ぶSDGs」とし、島々を紹介する島旅ステージや特産品等を販売するマルシェとともに、瀬戸大橋インフラツアーやフェス期間限定の臨時クルーズを与島から発着させるなど与島PAを拠点とした新しい地域連携の取組を実施。

持続可能な島の暮らしと島旅の可能性を追求し、発現していく場として、来年度以降も実施予定。

### イベント概要

- 日 時 2022年5月14日(土)・15日(日)10:00~16:00
- 会 場 E30 瀬戸中央自動車道与島パーキングエリア
- 主 催 本州四国連絡高速道路株式会社
- 協 力 J Bハイウェイサービス株式会社
- 後 援 一般社団法人日本旅客船協会  
国土交通省四国地方整備局  
国土交通省四国運輸局  
四国経済連合会 NHK高松放送局
- 総合プロデューサー

小林 希 (旅作家)



小林希さん





# (1) せとうち島旅ステージ



酒井社長の挨拶



せとうち島旅紹介  
(総合プロデューサー小林希さん)



せとうちアンバサダー就任式



オープニング時の様子



# (1) せとうち島旅ステージ



葉加瀬太郎氏ミニライブ



シンガーソングライター麗奈さん



与島展望台ネーミング発表



setona (せとな) 町マーク



# (1) せとうち島旅ステージ



粟島との中継



SDGs取組紹介 (三豊市)



プロサイクリスト 門田基志さん



SDGs取組紹介 中国四国農政局/JB本四高速



SDGs取組紹介 (丸亀市)



志々島 安土早紀子さん



# (1) せとうち島旅ステージ





## (2) せとうちマルシェ





## (2) せとうちマルシェ





### (3) アンカレイジ見学会





### (3) アンカレイジ見学会

- インフラツアー／与島橋ウォーク





## (4) 与島発クルーズ

### ア 本島航路で行く本島（笠島地区）めぐり

実施回数：7本/日 9:20～16:20

対象人数：40名迄/回

実施体制：加藤汽船トラベル（当日受付）

ガイド体制：本島 吉田邸 真木邸に配置

島内（笠島地区中心）パンフ配布

※インフラツアーについては、島内ガイド配置



本島クルーズ（与島～本島）					
便	与島発	笠島着	便	笠島発	与島着
①	9:20	9:40	①	9:50	10:10
②	10:20	10:40	②	10:50	11:10
③	11:20	11:40	③	11:50	12:10
④	12:30	12:50	④	13:00	13:20
⑤	13:30	13:50	⑤	14:00	14:20
⑥	14:30	14:50	⑥	15:00	15:20
⑦	15:30	15:50	⑦	16:30	16:50

※黄はツアー。一般乗船も可。

### 本島航路で行く本島（笠島地区）めぐり



### イ 瀬戸大橋くぐりクルーズ

実施回数：6本/日 10:00～16:10

対象人数：80名迄/回

実施体制：加藤汽船トラベル（当日受付）

ガイド体制：船内ガイド（BE塔頂体験スタッフを予定）



周遊クルーズ（与島～与島）		
便	与島発	与島着
①	10:00	10:40
②	11:00	11:40
③	12:30	13:10
④	13:30	14:10
⑤	14:30	15:10
⑥	15:30	16:10

※黄はツアー。一般乗船も可。

### 瀬戸大橋くぐりクルーズ



## (4) 与島発クルーズ

- クルーズ／瀬戸大橋くぐりクルーズ





## (4) 与島発クルーズ

### ● クルーズ／本島航路で行く本島（笠島地区）めぐり



---

## 【今後について】

来年度以降についても、以下の方向で開催し、島旅の魅力発信を継続。

- せとうちの島々を含む瀬戸内地域のみなさんが集い、地域の魅力を発信する4つの柱「島旅ステージ」「せとうちマルシェ」「インフラツアー」「島旅クルーズ」を展開。
- 島旅と言えば「瀬戸内海」と国内、海外のお客様に認識してもらえるよう10年先の瀬戸内の未来に向けた取組のスパイラルアップ。



### 3. せとうち島塾

当社が進めてきた瀬戸内の島旅活性化に関する取組に関して、当初は、「島旅の活性化」＝「ツアー造成等による観光振興」との認識で取り組んできましたが、FAMツアーを実施し、島々の方々との交流を深めていく中で、必ずしも観光による振興を望んでいない島があることも判明しました。

一方で、我が国は、少子高齢化・人口減少が進展し、様々な課題が山積しています。本四高速の立脚する瀬戸内地域も例外ではありません。特に、島に目を向けると、高齢化や人口減少は驚くべき速さで進行し、これに伴う様々な課題も一層深刻化しています。瀬戸内の未来を考え、観光のみにこだわらない地域の活性化に向けて、さらに、人口減少等に伴う課題の解決の一助とするとともに、SDGsについて考える機会の創出を目的として、讃岐広島で「せとうち島塾」を開講することとしました。

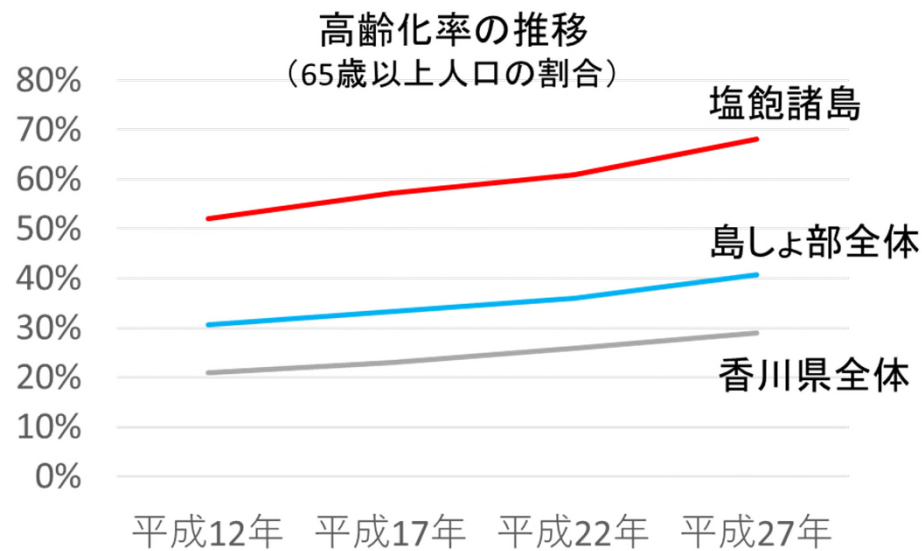


## 少子高齢化



塩飽諸島の高齢化率は15年間で52%→68%と16%増加

塩飽諸島特有の地域資源の活用により、交流人口や関係人口の増進を図ることで、地域の活性化が望まれます。



(出典) 香川県数値統計情報「人口の推移」より作成



イメージ図



空き家・荒れ地

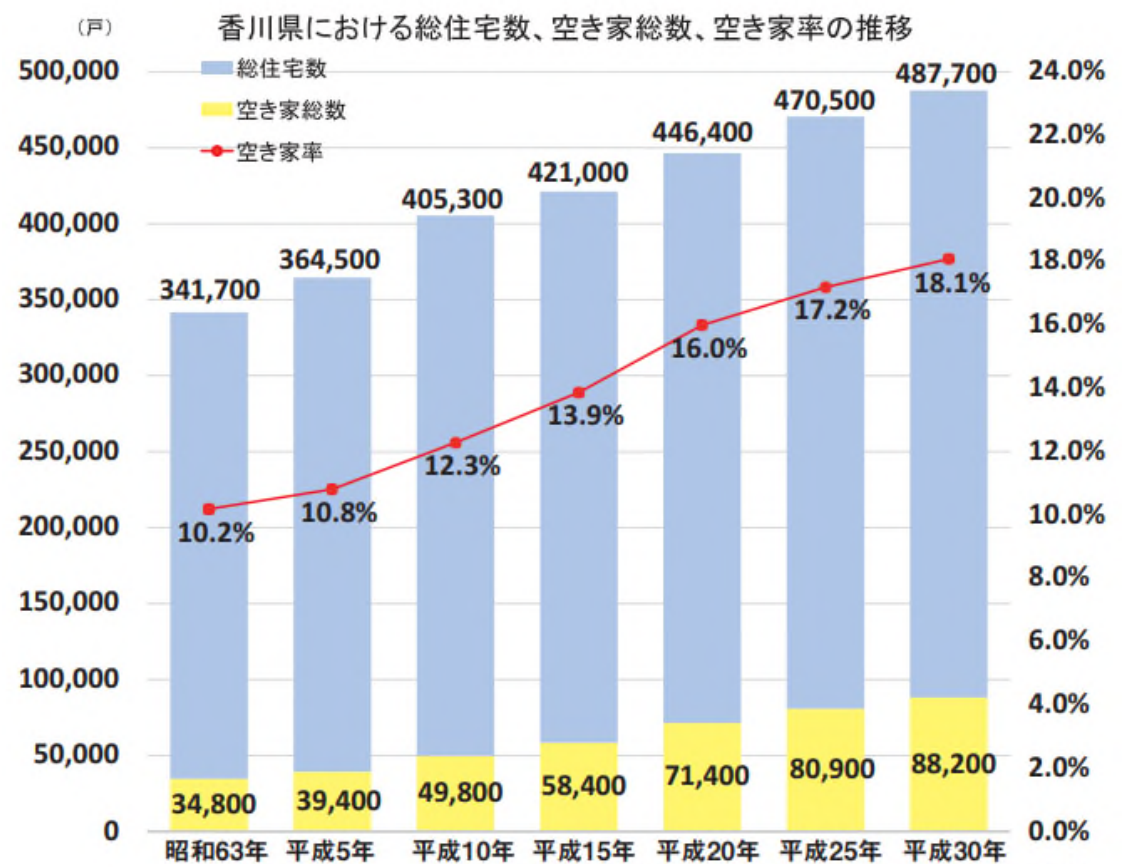


人口減少、建築物の老朽化等に伴い、全国で空き家が増加(H15：212 万戸 ⇒ H25：318万戸※) し、島々も例外ではありません。 ※出所：総務省「H31.1 空き家対策に関する実態調査」



イメージ図

管理されない空き家は、安全性の低下、公衆衛生の悪化等の問題を生じさせ、島民の生活環境に深刻な影響を及ぼします。



出所：香川県「空き家ガイドブック2021」

## 獣害



イノシシ捕獲活動、防護柵の設置  
(イメージ図)

イノシシが  
地面を掘り起こした荒地  
(讃岐広島)



鳥獣被害は耕作放棄・離農等の被害ももたらしており、島民へ深刻な影響を及ぼしています。

本島、讃岐広島では、防護柵の設置等を通じて獣害対策を実施しています。



## 耕作放棄地



現在国内では、高齢者のリタイア等により、農地などの経営資源や農業技術が適切に継承されず、農業の生産基盤が一層ぜい弱化することが危惧されています。

かつて塩飽諸島や荘内半島では「香川本鷹」が栽培されていましたが、栽培の担い手が不足しているのも課題となっています。



イメージ図

島嶼部においても、同様の課題があります。



香川本鷹

## 海ごみ



海ごみは、環境・生物・景観・産業・生活など様々な影響を及ぼします。ごみになってからの時間が長いほど破片化して、回収しにくくなるだけでなく、生き物が誤って飲み込みやすくなったりと食物連鎖により人体への影響の可能性も指摘されます。



私たち一人ひとりが、マイクロプラスチック等の海洋環境問題について知ること、生活から出るゴミを減らすこと、出たゴミを適切に処理することが必要です。



## 宿泊



讃岐広島の宿泊施設は、2021年にオープンした「尾上邸」と、素泊まり自炊での宿泊となる「ひるねこ」、「旅ねこ」などに限られています。各施設にはキッチン、バス・トイレが設置されていますが、団体での宿泊の際は、浴室の利用などが課題となります。



尾上邸(讃岐広島)



旅ねこ(讃岐広島)

## 交通



讃岐広島では、四国本土からの定期船がフェリー3便/1日・旅客船6便/日、コミュニティバスが6便/1日運行しています。

観光目的で訪問した場合、タクシーがないことや、レンタサイクル（※電動）がないことなど、二次交通の課題もあります。



定期船(フェリー)



島内サイクリング(イメージ)



コミュニティバス



## 生活利便施設



商店・食事場所等の不足により、島内で持続的な消費生産形態を確保できないことが課題となっています。



江の浦港の公衆トイレ  
(讃岐広島)



古民家ゲストハウス「ひるねこ」  
(讃岐広島)

## 医療



過疎化や高齢化が進むなかで、島の診療所に勤務する医師や看護師の確保、診療時間外における急患対応などが課題となっています。



イメージ図



### 讃岐広島診療所

#### 【診療日】

月・火・金曜日 9時00分～12時00分  
13時00分～17時00分

水曜日 10時30分～12時00分  
13時00分～17時00分

#### 【休診日】

木曜日・土曜日・日曜日・祝祭日



## 廃校・教育



少子化などの影響により、教育機関の廃校・統合等に伴い学校がなくなった地域における社会活力の低下や、遠距離通学や費用増加などが課題となっています。



讃岐広島コミュニティセンター（旧小・中学校）の外観・教室を改装した会議室

一方で、讃岐広島コミュニティセンターなど、廃校施設を地域の実情やニーズを踏まえながら有効活用されているケースもあります。

## コミュニティ



過疎地においては、農林漁村が多く、地縁的なつながりは都市部に比べて比較的強い一方で、地域経済の縮小、人口減少・高齢化により地域コミュニティ※の維持や、他のコミュニティや地方自治体との関係機関との連携などが課題となっています。



※（生活地域、特定の目標、特定の趣味など）何らかの共通の属性及び仲間意識を持ち、相互にコミュニケーションを行っているような集団（総務省「地域コミュニティ研究会」（出所：総務省「地域コミュニティ研究会」）



## 第1期せとうち島塾（5月16・17日）

### 実施概要

◆実施日

5月16日（月）～17日（火）

◆参加者

令和4年度新入社員等 13名

◆プログラム

16日（月）

- ①開講式（本四高速 酒井社長挨拶）
- ②塩飽諸島の現状について（丸亀市広島市民センター長 山田氏）
- ③島の現状等について（広島連合自治会長 平井氏）
- ④実地研修 クリーンウォーク

17日（火）

- ⑤実施研修 ビーチコーミング
- ⑥海ごみ講座
- ⑦振り返り・閉講式







開講式



研修会場



島の現状について（平井会長）



広島コミュニティセンター



塩飽諸島の現状について（山田所長）

### 3 島しょ部の人口

	S35 国調	H17 国調	H27 国調	R2 国調	減少率 (%) R2/H17	住居人口に基づく 高齢化率 (R3.4.1現在)
本島	2,484	605	396	282	▲53.4	61%
牛島		18	10	8	▲55.6	90%
広島	2,286	351	226	167	▲52.4	80%
小手島		51	36	37	▲27.5	50%
手島	553	54	30	17	▲68.5	86%
	5,323	1,079	698	511	▲52.6	73%

### 4 学校・医療施設

令和4年4月1日現在

島名	保育所数	小学校数	中学校数	高校数	診療所
本島	1(2)	1(3)	1(4)	0(6)	1
牛島					
広島		1(休校)	1(休校)		1
小手島		1(休校)	1(1)		
手島					

※（ ）内は生徒数

## 現状と課題

### 2. 島のIT整備、島の情報発信

- ① 本島・広島に光ファイバ網を整備し、令和2年4月から、光回線による高速インターネットサービスを開始
- ② 公衆Wi-fi設置
  - ・県の補助金を活用し、観光客向けの「かがわWi-fi」を設置
  - ・本島泊待合所、広島江の浦待合所、手島自然教育センターなど
- ③ 島専用ホームページ「島旅ノート」による5島に魅力を発信中



島に移住。出会った地元漁師さんと結婚

※HOTサンダルに参加した美大生をはじめ島にゆかりのある若者などが島に移住。島が若返り、活性化の兆し！

### しこく主島 幻の唐辛子復活 観光資源に



広島で香川本島の生育状況を確認する唐崎晴太さん（右）と秋山幸夫さん＝香川 瀬丸島市広島前江の浦



<説明内容>

- ・丸亀市の現状と課題
- 15年で人口半減、医療・教育・インフラ整備・航路運賃負担など陸地部との格差 等
- ・離島振興に向けた仕掛け
- IT整備・島の魅力発信、自然・島民との交流を活かした美大生の受入、離島関係の補助金活用 等
- ・島をどう活性化させていくか
- 「島が活性化するには、生活環境の改善、移住等の動機作り、外部人材による取組みが必要！」

## 離島振興に向けた仕掛け



## ◇実地研修（クリーンウォーク）

### ○参加者

島民の方 4名

当社研修参加者 13名ほか

### ○実施場所

讃岐広島 心経山登山口から軽自動車にて進入可能な  
約500mを整備

### ○実施内容

鎌・鋸・草刈り鋏・熊手などを用いて、通行の支障と  
なる竹の伐採、草刈り、清掃

### ○実施結果

車の通行に支障がなくなった、滑りにくくなった



インストラクターによる事前説明



心経山の登山口



インストラクターによる指導





竹の伐採



草刈り



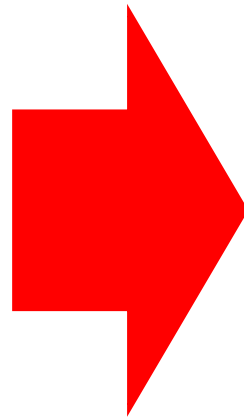


熊手で清掃



作業を終えて

実施前



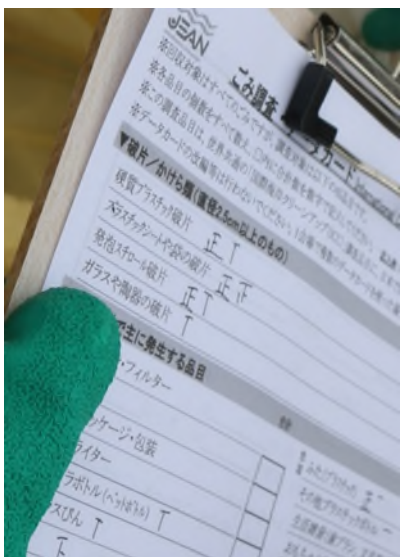
実施後





## ◇実地研修 (ビーチコーミング・海ごみ講座)

- 参加者  
海ごみ講師 香川ガイド協会理事 森田桂治氏  
島民の方 6名  
当社研修参加者 13名 ほか
- 実施場所  
讃岐広島 茂浦海岸・  
広島コミュニティセンター
- 実施内容  
1時間程度で約20袋の海ごみを回収



回収したごみは、(一社)JEANが作成した全国共通の調査票の各項目へカウントしまとめる。

調査票を海洋ごみ問題解決に向けて活動している(一社)JEANに提出し、JEANを通じて世界共通の手法として (ICC) に報告され、世界規模のデータとして今後の環境保全活動に活かされる。



班分け



島民の方を交えて作戦会議



調査票記入方法の説明





海ごみの回収





各班による結果報告



海ごみとともに集合写真

海ごみの例



プラスチック破片 (菓子袋)



発泡スチロール



ペットボトル



## 個人でできること

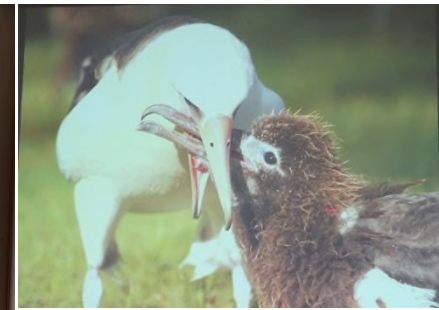
- ・ポイ捨てをしない
- ・エコバッグを持って買い物に行く
- ・レジ袋はもらわない
- ・野菜はバラ売りのものを選ぶ
- ・容器持ち込み可の量り売りの店を利用する（豆腐、コーヒー豆等）
- ・使い捨ておしぼりはもらわない
- ・プラスチック容器に入ったお弁当は買わない
- ・ペットボトルの飲み物は買わない
- ・マイボトルに飲み物を入れて持ち歩く
- ・プラスチック製ストローが付いた飲み物は買わない
- ・個包装のお菓子は買わない
- ・ポリウレタン入りの衣類は買わない
- ・海岸の清掃活動に参加する
- ・散歩、ジョギングしながら道路脇のごみを拾う
- ・ポトル給水器の設置を行政に働きかける
- ・クリーンセンター、リサイクル処理場の見学



森田氏による海ごみ講座

### 世界の取り組み

EU	2021年までに使い捨てプラスチック使用禁止
イギリス	野菜をプラスチック袋に入れないスーパーが主流
ドイツ	ペットボトルを返すとお金がもらえる
米国	リサイクル、コンポストのごみ箱（紙も）
中国	空箱に給水器やしてマイボトル推進
韓国	プラスチックゼロのお買い物マップ
タイ	ホテルでもガラス瓶入の水に切り替え
クオア	ポリ袋使うと4年間刑務所、4万ドルの罰金
インドネシア	ペットボトルでバスに乗れる



コアホドリ種3羽の胃から採取された海洋汚物

### できることを考える前の3つの前提

- 1.地球の広さは無限でないことと認識すること
- 2.次世代に快適な環境を与える責任を果たすこと
- 3.生態系を含む自然のすべてに生存の権利を認めること

— 九州大学磯辺教授



海がめやオットセイになりきって絡まった網からほどけるかの実験



マイクロプラスチックの分類





島の方々との交流



## ◆島塾参加者のアンケート

・研修を通じて島の方々と交流したことで、一部ではあるが広島の魅力を知ることが出来たため、島の魅力を発信していく上で、難しいとは思いますがまず一度島に足を運んでもらえるような方法があればより一層活性化に繋がるのではないかと思う。

・BBQの際に島の方から島の良いこと、悪いこと（猪、竹、用水路、地下水等）について個人的に案内、紹介してもらった。島を大きな社会問題のモデルケースとして学ぶにしろ、今後広島島の改善に取り組むにしろ大変有意義な時間であったと思う。

・クリーンウォーキングでの鬱蒼とした山道やビーチコーミングにおける海岸ごみの散乱が、ただ単に外部から清掃活動に来る人がコロナ禍によって減少しただけでなく、広島自体の人口減少により整備の人手が足りなくなったことに起因しているということは想像に難くありません。

塩飽諸島だけではなく四国全体が抱えているこれらの問題は、四国と本州をつなぐ本四高速の死活問題でもあり、かつその問題の解決、ないしはその進行を遅らせることが使命であると再認識することができました。

・この研修を通して学んだこと、感じたこと、考えたことを理解し、これからの仕事・業務では瀬戸内地域の魅力を発信し、発信したことで多くの方に瀬戸内地域の魅力を知っていただき、そして瀬戸内地域を訪れるきっかけとなっていただけのように、本四高速の一社員として、瀬戸内地域や島の方々、お客様の架け橋となるよう日々精進して参ります。

## ◆島民の方のご意見（R4.6.14島民との意見交換）

<今回の島塾を振り返って>

- ・山の清掃も、しなければならぬとわかっていながらも、なかなか行うことが難しく、本四高速のこのような取組は大変ありがたい。今後も続けてほしい。
- ・竹を切ったり整備することによりイノシシも警戒し、獣害対策としても効果があると思う。
- ・海ごみについて、ただゴミを拾うだけでなく、分別も行った。また、海ごみの影響など詳しいことまで知らなかったもので、勉強になった。もっといろいろな人に知ってもらいたい。

<今後の展開等>

- ・いろは石のまわりが見え辛くなっている個所があり、いろは石ウォーク前の草刈り等。
- ・イノシシの罠の仕掛けなど手伝いは可能

<その他>

- ・讃岐広島で4. 5月、観光で1・2人、10名ぐらいのグループがちょくちょく来ていた。尾上邸営業開始の影響もあるのかもしれないが、以前と流れは変わってきていると思う。

## ◆今後のスケジュール

- ・島塾実施について、丸亀市広報紙に掲載予定

(今後の開催予定)

第2期せとうち島塾

実施日：令和4年10月18日～19日

第3期せとうち島塾（募集型研修）

実施日：令和4年11月8日～9日



---

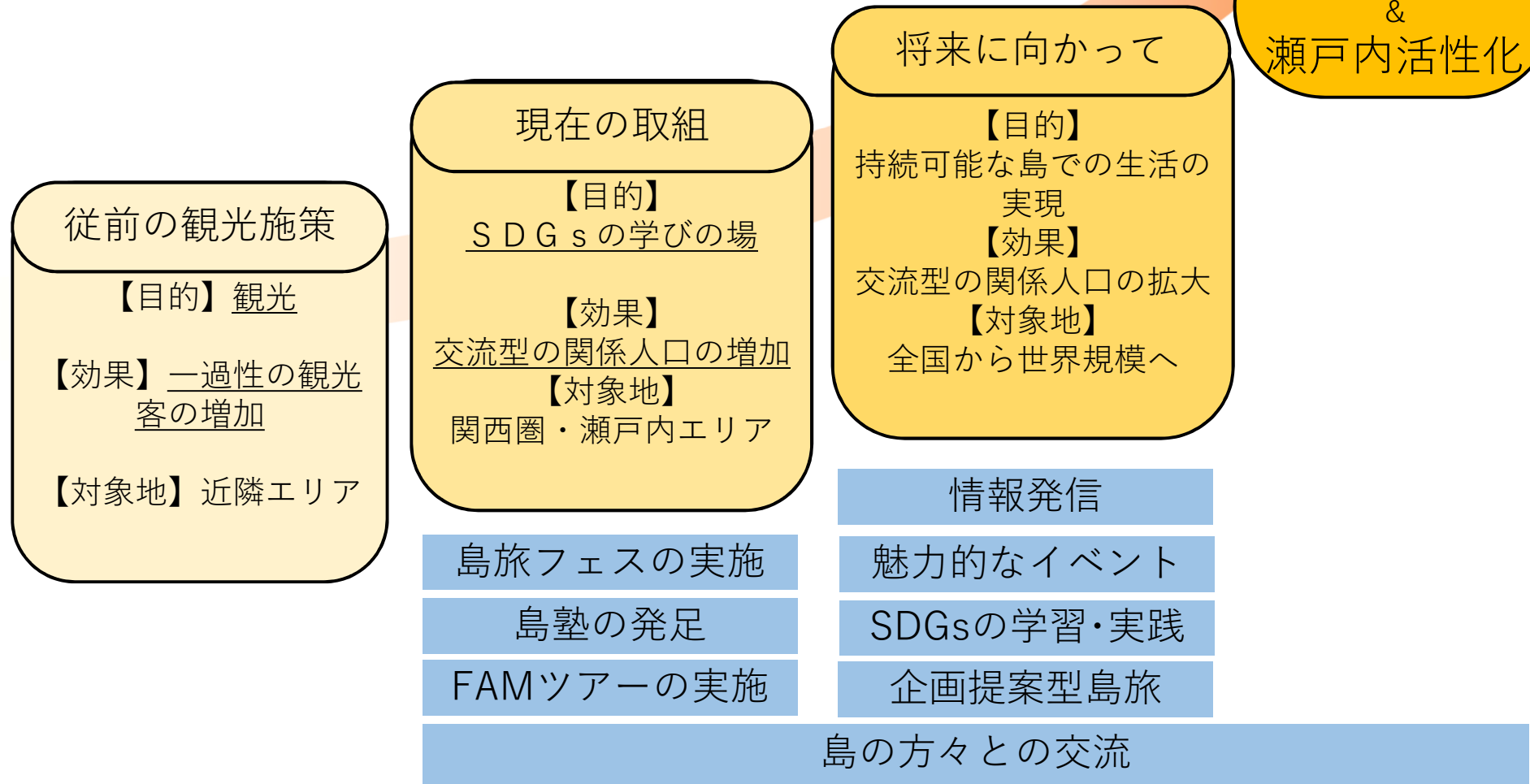
## 【今後について】

- ・ 島塾について、今後は、今後は、社内研修として定期的実施するとともに、企業研修としての活用を検討していくこととしている。
- ・ 島旅を通じた島の方々との交流を通じて、観光面だけでなく、島々の抱える課題や環境面などSDGsとの関連にも触れていく中で、今後はコミュニティの存続が危惧される島々との持続可能な関係を模索・構築し、島旅の取組の可能性を拡げていく。

# IV. 今後の島旅への取組

- ◆当社が島旅に取り組んでいく過程で、理想とする島旅像の輪郭が浮かび上がってきた。
- ◆①観光からSDGsの学びの場へ、②一過性の観光客の増加から交流型の関係人口の増加へ、①を下支えするのが島塾や島旅フェスの活動であり、②の展開につなげるのは、島の方々との交流を中心とした島旅の実現と考えられる。
- ◆今後、島旅の可能性の拡大に向けて取り組んでいくこととしている。

島旅活性化  
&  
瀬戸内活性化





# 活動報告書

塩飽諸島における島旅活性化

～F A Mツアー結果とその後の島旅の取組みについて～



2022年7月4日  
株式会社穴吹トラベル地域未来創造課 後藤昌志

## 【塩飽諸島における島旅活性化に向けたF A Mツアーの実施】

親子・教育関係者を招請したF A Mツアーを以下の日程で実施

①親子向けF A Mツアー （与島・志々島・粟島）

2021年10月9～10日 三豊市在住の親子を対象に実施

②教育者関係者及び旅行会社向けF A Mツアー （与島・志々島・粟島）

2021年11月27～28日 教育関係者を対象に実施

③親子向けF A Mツアー （与島・六口島・粟島）

2022年5月28～29日 メディア関係者親子を対象に実施



## ①親子向けF A Mツアー

### 親子向けF A Mツアー (与島・志々島・栗島)

#### 【与島・志々島・栗島での目的】

- 与島の塔頂体験で、「世界屈指の多島美を誇る瀬戸内海国立公園を守る」という意識を参加親子に持ってもらう。
- 志々島の島民ガイドとの島歩きで、自然に触れる体験をする。
- 栗島におけるビーチコーミングを通じて、海洋環境問題、SDGsの重要性等について親子で学ぶ体験をする。



## ②教育関係・旅行会社向け F A M ツアー

 教育関係・旅行会社向け  
 F A M ツアー  
 （与島・志々島・栗島）

**【与島・志々島・栗島での目的】**

- 与島の塔頂体験で、「世界屈指の多島美を誇る瀬戸内海国立公園を守る」という意識を持ってもらう。
- 志々島や栗島の島民ガイドから直接話を聞き、島の現状について学ぶ。
- 栗島におけるビーチコーミングを通じて、海洋環境問題、SDGsの重要性等について学ぶ体験をする。
- 研修要素として、旅行商品化の可能性を探る。





## ①親子向けF A Mツアー

### 親子向けF A Mツアー (与島・六口島・栗島)

#### 【与島・六口島・栗島での目的】

- 与島の塔頂体験で、「世界屈指の多島美を誇る瀬戸内海国立公園を守る」という意識を持ってもらう。
- 六口島にて象岩眺望や水あそび等、**自然に触れる体験**をする。
- 栗島におけるビーチコーミングを通じて、**海洋環境問題、SDGsの重要性等について学ぶ体験**をする。



【アンケートより】

● **親子**向けアンケートより

- ・ ごみ問題に対する関心が生まれ、海ごみ拾いやゴミ捨てに対する**意識向上に繋がった。**
- ・ **「自分たちの手で自然を守らなければ」**という意識が高まった。
- ・ 瀬戸大橋、志々島、粟島など、身近な**地元の魅力を再発見**できた。

● **教育者**アンケートより

- ・ 教育の場で島々の**持続的な存続、島民の思いを伝えていきたい。**
- ・ 高校生自ら旅行ツアーを考えさせる、島案内をするなどの形で**島と教育の場の接点を設けたい。**
- ・ 生徒や保護者にも島民との触れ合いを持つ**ツアーを勧めたい。**
- ・ 島を学びの場とするための**受け入れ体制（警察、病院等）の課題**がある。

● **旅行会社**アンケートより

- ・ 教育、研修要素を含めた**旅行商品造成の可能性はある。**
- ・ 今後企画を考え、関係機関等を通じて**販売に繋げて行きたい。**



【島民の方の声】

●志々島（島民：山地様、北野様）

- ・島の存続の為に、島民減少問題を解決したい。
- ・今いる若い人たちが住み続けられる仕事を作りたい。
- ・過疎化が進む → 定期船利用者数減少 → 定期船がなくなる → 更に島民が減少  
この悪循環に対する危機感。

**「志々島でどんな仕事を生み出すことができるか」** この情報を知りたい。

●粟島（島民：佐藤様、ル・ポール粟島支配人 平木様）

- ・海ごみ問題の影響により、ウミホタルも減少してきている。
- ・島の浜辺には多くの海ごみが集まってくる。  
島内で出たごみではなく、ほとんどが島外から流れ着いてくる。
- ・観光客がもっと島内で消費できる仕組みが必要。
- ・島内の飲食店を増やす、バリアフリー対応のトイレの整備などが進めて行きたい。

**「観光化を進めたいが、島内での飲食等消費環境が乏しい。**

**島のファン作りが必要と住民は考えている。」**

当社穴吹トラベルでは、コロナ禍でも少人数で旅を楽しめ、地域の魅力再発見ができるツアーとして「**瀬戸の島たびツアー**」の企画・販売を実施。  
島住民と触れ合う機会を作るために島内ガイドと一緒に島内を巡るツアー。

【ガイドとめぐる「瀬戸の島旅」シリーズ（全8回）】

- 第1回 **志々島**（天空の花畑と大楠、郷土料理茶粥）
- 第2回 **本島**（笠島地区散策と勤番所・吉田邸）
- 第3回 **北木島**（石切丁場・採石場、地元で獲れた海の幸）
- 第4回 **白石島**（弘法山開龍寺・仏舎利塔、海水浴場）
- 第5回 **真鍋島**（歴史と映画の島、漁師料理）
- 第6回 **伊吹島**（島四国88番札所、いりこ郷土料理）
- 第7回 **栗島**（海洋記念館、芸術家村、海鮮ランチ）
- 第8回 **北木島・飛島**（飛島：自生椿、北木島：石切丁場、旧映画館）

【番外】

**与島**：瀬戸大橋塔頂ツアーと多度津町武家屋敷

**栗島**：海洋記念館、芸術家村、ル・ポール栗島、ウミホテル、ぶいぶいガーデン



### のんびり歩いてめぐる 瀬戸の島たび シリーズ 全8回

★ポイント★

- ①1日かけてゆっくりじっくり!島をご堪能
- ②島在住のおもしろ名物ガイドさんがご案内
- ③島ならではの昼食付き
- ④安心の小人数(10名~20名様まで)のツアー

**3S580** 日帰り 香川 第1回 **志々島**

10名限定

★島の郷土料理 茶粥定食のご昼食

★島ガイド 山田さんがご案内!

出発日 5月16日・22日・26日・31月

旅行代金(おひとり) **11,990円**

**3S581** 日帰り 香川 第2回 **本島**

10名限定

★地元の食材にこだわった ジェブ特製コースランチ

★島ガイド 橋原さんがご案内!

出発日 5月30日 6月5日・11日・15日

旅行代金(おひとり) **12,990円**

### のんびり歩いてめぐる 瀬戸の島たび シリーズ 全8回

★ポイント★

- ①1日かけてゆっくりじっくり!島をご堪能
- ②島在住のおもしろ名物ガイドさんがご案内
- ③島ならではの昼食付き
- ④安心の小人数(10名~20名様まで)のツアー

**3B544** 日帰り 岡山 第3回 **石の島 北木島**

15名限定

★島ガイド 馬越さんがご案内!

距離:約4km 時間:約3時間半

北木島は、古くから上質な石が採れる「石の島」として知られています。「北木石」は、瀬戸内の三大銘石の産地として称されました。北木石の採石場の切り立った岩肌やユニークな石のオブジェなど、石の島ならではの風景をお楽しみください!

出発日 6月24日・26日

旅行代金(おひとり) **13,990円**

**3B551** 日帰り 岡山 第4回 **白石島**

10名限定

★石と祈りの島

★島ガイド 天野さんがご案内!

出発日 10月24日・28日

旅行代金(おひとり) **12,990円**

もっと、わくわく!



### 3B550 18名乗りの船を貸切!チャーター船で行く!

## 真鍋島

歴史と映画の島

完全予約制!漁師小屋  
豪快漁師料理

【ガイド】  
武井さんがご案内!

11月28日(12月2日) 15,990円

### 3S607 いあしほ

## 伊吹島

名産! 地元の食材を使った  
いりご御膳

【ガイド】  
三好さんがご案内!

10月2日(17日) 11,990円

### 3S628 島島いろはカルタ

## 栗島

アートの島

旬の食材にこだわった  
海鮮ランチ

【ガイド】  
平木さんがご案内!

11月13日(20日) 11,990円

### 3S626 瀬戸内海の絶景パノラマへご案内!

## 瀬戸大橋塔頂ツアー

絶景!瀬戸大橋塔頂ツアー

【ガイド】  
平木さんがご案内!

11月13日(14日) 13,990円

### 3B566 瀬戸の島たび

## 北木島

瀬戸内海の新鮮な魚介類を使用したコースランチ

【ガイド】  
堂野さんがご案内!

11月13日(19日) 15,990円

### 3S612 泊まって地元再発見!!

## 栗島 島時間

ルポール栗島 宿泊

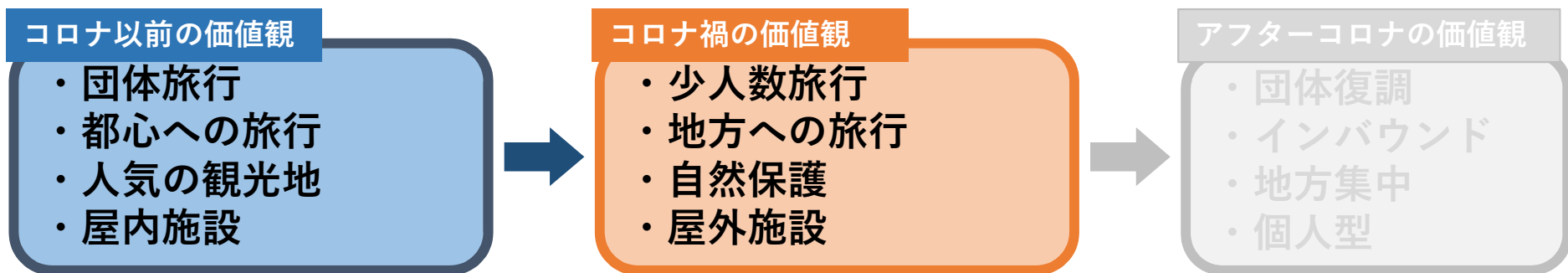
【ガイド】  
平木さんがご案内!

11月5日(12日) 20,000円

もっと、わくわく!

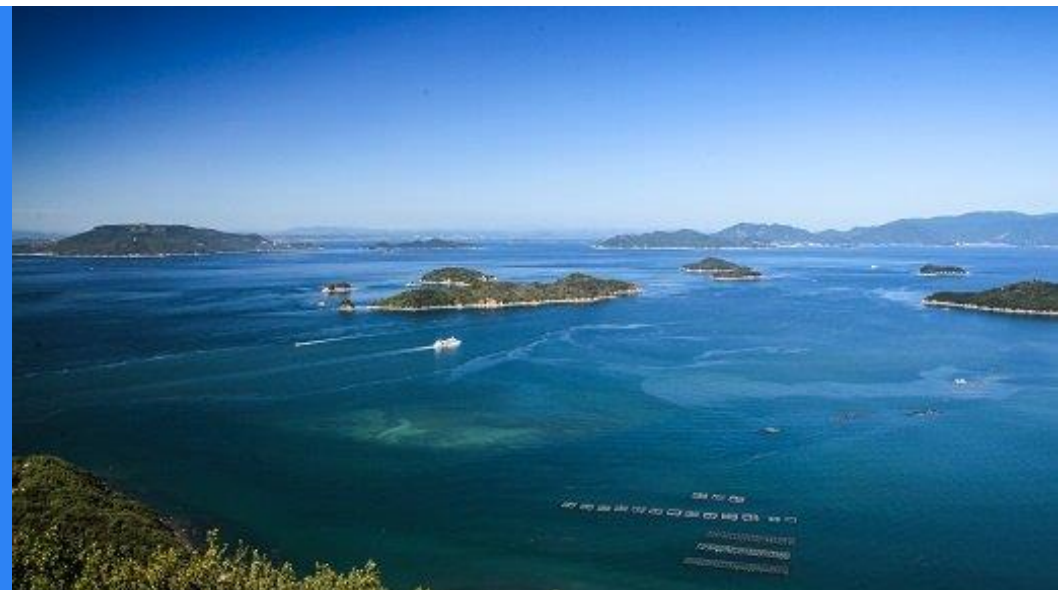


【市場の価値観の変化に対応】



- ・ 瀬戸の島たびツアーは、消費者となるツアー旅行者の価値観の変化に対応した企画であるため、今後の価値観に合わせて、再設定を検討中。
- ・ 海ごみ調査・ウミホテル鑑賞・島民との触れ合いなどのコンテンツは、研修要素が多い為、企業向け・学校関係等に向け、企画・販売を検討中。

# せとうち島旅の 観光振興に向けた JT B の取組紹介



(株) J T B 高松支店  
瀬戸内アイランドコンシェルジュサービス  
(SICS) 事務局 高木 進

2022年7月



# せとうち島旅を考察した際のSWOT分析

## 同地域についての現状分析、課題整理

瀬戸内は島の文化が残る魅力的なポテンシャルを有している。コロナ環境下ではあるが、2022時点では瀬戸内国際芸術祭を控え地元の期待感も高い。全国ネットワークと地域密着した2つの軸を持つ旅行会社JTB高松支店としては瀬戸内の島旅の魅力を提供していくにあたり、以下のような課題感を持ち、社内自主事業として「瀬戸内アイランドコンシェルジュサービス」(SICS)とネーミングする事業を2019より展開してきた。

- ①高付加価値、高単価志向への挑戦
- ②二次交通課題改善への体制づくり
- ③エリア内のキラークンテンツ開発

⇒以下、SICSの取組と本四高速様との最近の取組をご紹介します。

内部環境

外部環境

	プラス要因 STRENGTHS	マイナス要因 WEAKNESSES
内部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●瀬戸内としての認知度、PR力</li> <li>●日本遺産認定による基盤体制</li> <li>●一定規模の観光入込客数</li> <li>●新鮮な魚介等の食資源の魅力</li> <li>●島ならではの魅力</li> <li>●四国遍路や瀬戸内芸術祭による地域住民のおもてなし志向</li> <li>●一定規模の観光受入体制の整備(宿泊、観光施設)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●認知度、イメージが低い</li> <li>●景観志向が強く、観光消費額が低い</li> <li>●二次交通が不便</li> <li>●観光への住民理解の遅れ</li> <li>●繁忙期と閑散期の差が大きい</li> <li>●キラークンテンツの不足</li> <li>●周辺地域との観光周遊が生かし切れていない</li> </ul>
外部環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>●恵まれた気候、自然景観</li> <li>●2022瀬戸内国際芸術祭によるPR</li> <li>●修学旅行方面変更による目的地としての可能性</li> <li>●巣ごもり環境からの潜在観光需要の回復期待</li> <li>●アウトドア志向、サステイナブルツーリズム志向とのマッチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●人口減少・高齢化(観光従事者の担い手不足)</li> <li>●インバウンド需要の回復遅れ</li> <li>●長期不況による世帯年収の低下</li> <li>●新型コロナ長期化の影響による観光意欲の衰退</li> <li>●バーチャル観光体験等の普及によるリアル需要の減少、減退</li> </ul>
	OPPORTUNITIES	THREATS

**SICSの取組**

# **二次交通課題改善の 取組について**



## SICSの取組み方針について

瀬戸内は、米国「The New York Times」で“Setouchi Islands”（瀬戸内）が日本で唯一選出（第7位）、世界が訪れたい地域として注目されています。

それにも関わらず、代理店である旅行会社からは、団体では、瀬戸内の島々は観光がしにくい、どうやって移動してよいかわからない等の意見を多く耳にし、なかなか商品展開がなされていないというのが実情です。

この度、SICS（瀬戸内アイランド・コンシェルジュ・サービス）を立ち上げ、旅のテーマにあった多様なチャーター船の申込管理と利用促進、各島々の魅力的な観光素材の紹介、瀬戸内での今までなかった過ごし方の提供を行い、瀬戸内の継続的、魅力的な誘客に貢献したいと考えております。

**SICSは瀬戸内のチャーター船を利用して**

**瀬戸内海の島々の魅力的な観光素材を繋ぎ、**

**新たな瀬戸内での過ごし方を開発することによって、**

**国内外の人々を瀬戸内に誘客し、**

**瀬戸内での継続的・持続的な観光振興を目指します。**

- ✓ 旅のテーマにあった多様なチャーター船の申込管理と利用促進



- ✓ 各島々の魅力的な観光素材の紹介、提供、開発



# SICSの取組み方針と概要について

旅のテーマに合ったチャーター船の提案から  
現地のコーディネートまで瀬戸内における  
ワンストップ・ソリューション・サービスを提供  
致します。

## 01 お客様のニーズに合ったチャーター船の提案

瀬戸内には多様な種類のチャーター船があります。参加人員・客層・予算等に合わせて最適のチャーターをご提案いたします。

## 02 瀬戸内での魅力ある過ごし方の提供、開発

地域の観光地、食事会場、またルートや発着港の問題等すべての課題をワンストップで解決・コーディネートします。  
また、地元の観光事業者と連携し、新たな瀬戸内での過ごし方を開発し、過去にはなかった魅力あるひと時を手帰郷します。

瀬戸内での充実した滞在

## 03 利用者の手を煩わせない簡潔な清算

島の旅行手配は煩雑になりがちで、清算に手間がかかります。そのような面倒をSICSで一本化することで簡潔な清算を目指します。

※サービスメニュー提供には手配・経費実費+手数料がかかります。  
担当者にお問い合わせください。





# SICSの取組み方針と概要について

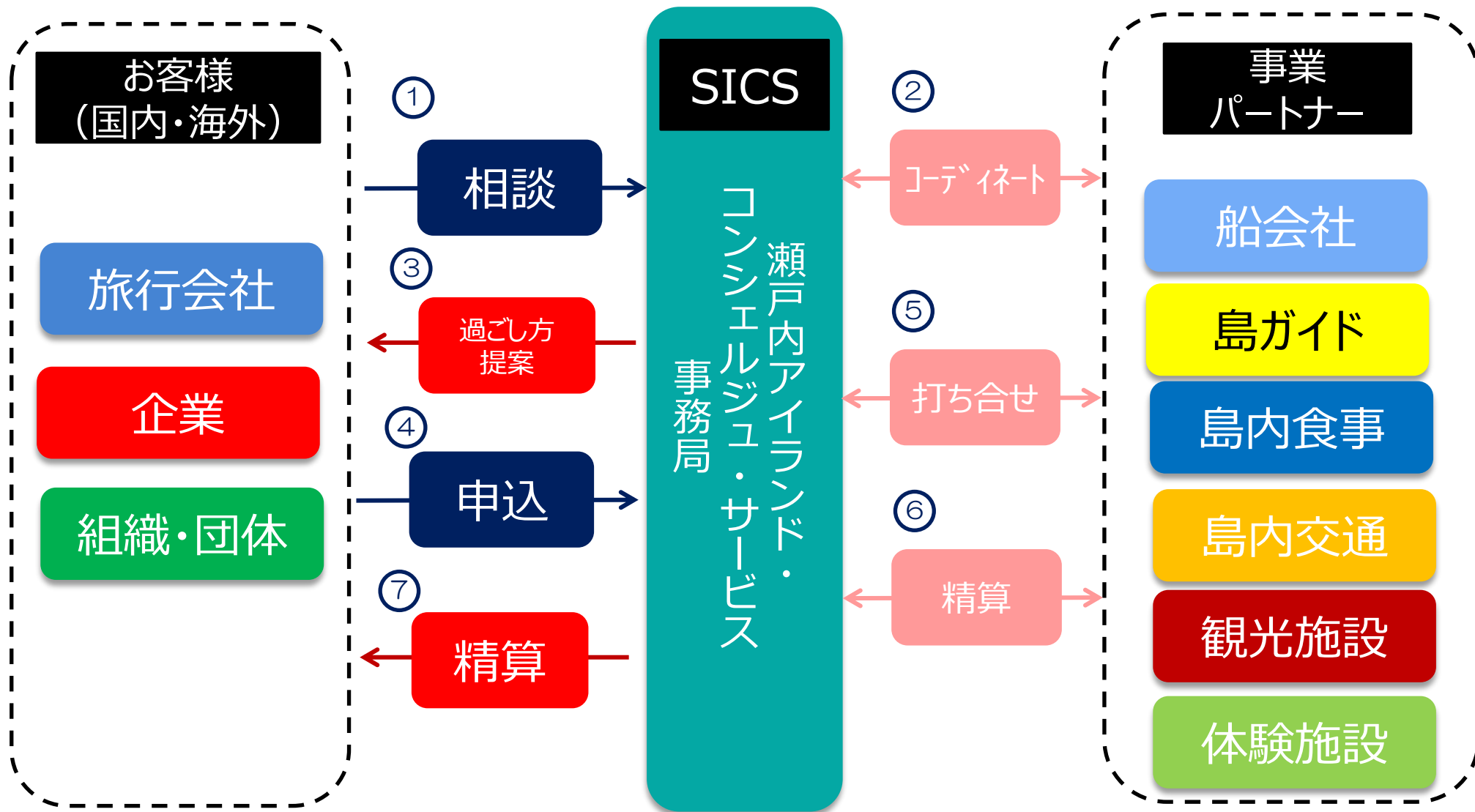
## SICSのネットワーク

SICSでは、香川県の全ての島々（小豆島、直島、豊島、女木島、男木島、大島、犬島、沙弥島、本島、高見島、粟島、伊吹島）での観光アレンジ、島間の移動が可能です。将来的には、瀬戸内海に浮かぶ島々での展開を目標としています。

SICSの  
アレンジ範囲



## ワンストップでの対応業務フロー





## チャーター船のラインアップ

船は単なる移動手段だけではございません。船の特徴を活かし、工夫を凝らすことによって様々な楽しみ方や演出をご提案できます。それぞれに個性を持った船の特徴をご紹介します。以下、一例です。

瀬戸内アイランドクルーズ

サンシーカー44マンハッタン 定員：10名  
ベッドやキッチン、シャワールームあり

TAMANO 定員：10名  
全長約12メートル。エアコンや  
シャワー・トイレ、宿泊可能。

さちかぜ 定員：45名

屋形船のような遊覧船。2Fがオープンデッキ  
で、サンセットクルーズや納涼船で人気。



2019, 11, 29 掲載記事  
日経新聞 (四国経済面)

四国新聞

瀬戸内国際芸術祭の会場となった  
12の島をチャーター船で巡る



## 島巡るクルーズ 瀬戸芸効果保て

JTB、海外富裕層向けツアー



高級クルーズで優雅な島旅を提供する。

新ルート開発  
JTB高松支店が「瀬戸内アイランド・コンシエール」サービスの事務局を務め、交通・宿泊・飲食などの地域の事業者をつなぐ。高級クルーズ船を運航する瀬戸内アイランドクルーズ(高松市)などが企画。瀬戸芸を享受するボランティアグループとして発足したNPO法人「瀬戸内こえネットワーク(同市)



瀬戸芸の会期外もアートな島々を楽しんでもらう(香川県・直島)

が島を案内する。チャーター船は、ペイントやキッチンを備えた高級クルーザーや、団体旅行向けの遊覧船などを用意する。1クルーズあたり15万~20万円が中心になるとみる。島巡りの出発地は主に高松港(同市)、宇野港(岡山県宇野市)となるが、香川県内の他の港も可能だ。

### 会期外「空白の100日」集客

過去最多の来場者数を記録した瀬戸内国際芸術祭(瀬戸芸)2019の勢いを保持しようと、新たな観光事業が始まる。JTBは28日、旅行会社からの依頼を受けてチャーター船やホテルなどを一括で手配する新サービスを始めた。点在する地域資源を結び、香川県を中心とした島巡りを後押しする。3年に一度の瀬戸芸の狭間にあたる「1000日間」の誘客といふ地域課題に挑む。

航で島巡りがしやすくなる。定期航路は本州・四国の港と島を結ぶ生活航路が中心で、島から島への移動が難しい。移動の自由度が高まるチャーター船を活用することで、新たな観光ルートを開発する。また、瀬戸内に点在する魅力的な地域資源をつなぎ、手配から支払いまで一括で請け負うことで、国内外の旅行会社に商品開発を促す狙いもある。海外の富裕層向けには小豆島での水上飛行機の体験や、JR四国の観光列車「四国まんなか千年ものがたり」(多度津大歩危駅間)などを組み合わせたラゲジュアリーな旅を提案する。

元年) 11月29日(金曜日)

四国新聞

## 島旅、ワンストップで提案

JTB高松 チャーター船活用



JTBがコーディネートする島巡りの旅で使われるクルーザーや遊覧船(奥)高松港

JTB高松支店は28日、瀬戸内の島々を巡る旅行にワンストップで対応する「瀬戸内アイランド・コンシエールサービス」を始めた。チャーター船を活用してオリジナルの周遊プランを提供するほか、精算などを一本化する上で手続

に制約があるため、チャーター船を手配する。瀬戸内アイランドクルーズ(高松市)やタコタコ海上タクシー(同)など、香川や岡山を拠点とする複数の運航業者と連携。クルーザーやヨット、遊覧船といった多様なタイプの船から、人数や予算などニーズに合わせて提案できる体制を整えた。現地での観光や飲食、宿泊、陸上交通などを含め、全般的にコーディネート。島々の観光資源を結びつけたプランをオーダーメイドでつくる。瀬戸内こえびネ

ワイド  
KAGAWA



# SICSのこれまでの実績について

【2019年度】 **637名**

阪急交通社（大阪発）主催 小豆島、豊島ツアー 3本、97名  
他、瀬戸内国際芸術祭関連実績

【2020年度】 **243名**

修学旅行、観光庁、環境省、瀬戸大橋登頂、農泊ツアー 等

【2021年度】 **416名**

一般団体、修学旅行、観光庁、環境省、瀬戸大橋登頂、農泊ツアー 等

【2022年度】 **496名（実績+見込み）**

一般団体、修学旅行、観光庁、環境省、瀬戸大橋登頂、農泊ツアー 等  
瀬戸内国際芸術祭関連等

2019年度 阪急交通社様 主催ツアー ⇒

今までなかった夢の組み合わせが実現! チャーター船利用だから個人ではなかなか行けない島を巡ります!

**アート島/直島・豊島・犬島と秋の小豆島**  
見所ハイライト周遊モニターツアー 3日間

豊島 水と自然が豊富な島  
犬島 大島精健美術館 入場料なし  
小豆島 2泊3日 オークドホテル

49,980円

ツアーのお問い合わせ窓口はお電話・FAXにて  
大阪 TEL:06(6366)2525 FAX:06(6366)2533  
078(331)6111 075(231)2090

2021～2022年度の  
本四高速様との取組

FAMツアーや  
モニター  
ツアーの取組



## 2021～2022年度の本四高速様との連携によるツアーのご紹介

【実施テーマ】 サイクリング・シーカヤック

【実施時期】 2021年11月15日～16日

【ご参加者】 6名 プラスアドバイザー&随行者

【実施概要】 環境省補助事業によるアドベンチャーツーリズム実証モニターツアー  
丸亀市さぬき広島でのシーカヤック体験、本島宿泊、  
翌日本島でのサイクリング体験、意見交換会

【意見交換、アンケートの主要な意見】

- シーカヤックはなぜさぬき広島での設定、推奨するかのさらなる改善、工夫が必要
- 本島は歴史や街並みと瀬戸大橋を真近に見る眺望があり、サイクリングは親和性あり
- 2島と瀬戸大橋を繋ぐ海上交通は面白い。住民と触れ合える設定ができると良い。



## 2021～2022年度の本四高速様との連携によるツアーのご紹介

【実施テーマ】 ジオツアー

【実施時期】 2021年11月23日

【ご参加者】 7名 プラス随行者

【実施概要】 環境省補助事業によるアドベンチャーツーリズム実証モニターツアー  
丸亀市さぬき広島の王頭山登山を主目的とした日帰り  
ジオ調査を行った横山氏、香川大学の長谷川先生等の説明、随行者

【意見交換、アンケートの主要な意見】

- 山道の草や枝打ちなど改善余地はあるが、軽登山の目的地としては未開拓、面白い。
- 島における食事提供、トイレ、緊急時のリスクヘッジなどには改善すべき要素あり。
- ジオストーリー+歴史、食事、住民との触れ合い機会などを加味すれば可能性あり。





## 2021～2022年度の本四高速様との連携によるツアーのご紹介

【実施テーマ】 アクティブシニア層への滞在型周遊観光

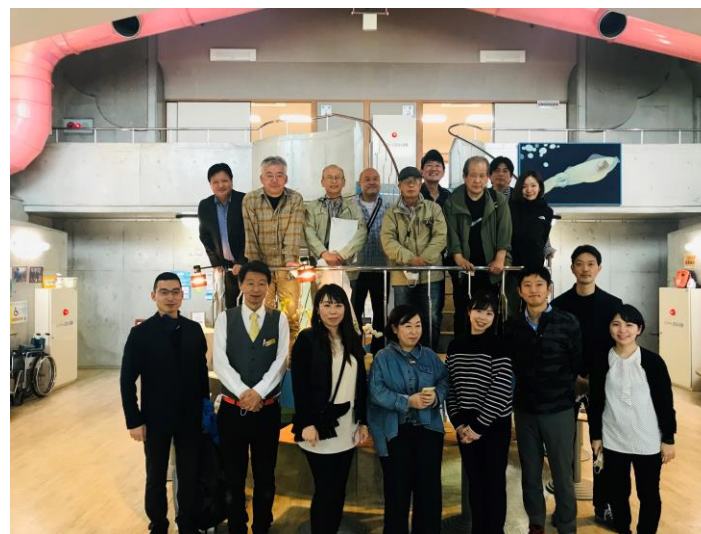
【実施時期】 2022年4月23日～24日

【ご参加者】 10名 プラスアドバイザー&随行者

【実施概要】 本四高速様による塩飽諸島の島旅滞在型周遊観光の実証FAMツアー  
瀬戸大橋登頂、本島での歴史探訪、チャーター船により粟島へ、宿泊  
翌日、粟島と志々島へ分かれての周遊観光、意見交換会

【意見交換、アンケートの主要な意見】

- 塩飽諸島の歴史、塩飽大工の魅力を語るツアーガイドへの高い評価とその継承の必要性
- 島ごとに違った生活や文化があることへの興味、理解を体験できる滞在型観光の必要性
- 瀬戸大橋登頂と島のコンテンツを繋ぐアイランドホッピングチャーター船の可能性



# 島旅の観光振興に向けた SICSの方向性

# 将来への展望



# せとうち島旅への弊社の今後の活動展開について

## 瀬戸内アイランドコンシェルジュサービス（SICS）の目指すべき方向性

瀬戸内の島をつなぐことを主眼として二次交通課題解消から魅力ある観光地としての基盤を構築する。二次交通の課題解消から、さらなる付加価値を提供する観光地として発展していく未来を描いていく。

長期目標：瀬戸内経済圏の観光による発展・関係人口の増加

2022年度

受入体制の整備と  
BtoB販売拡大

まずはチャーター船を提供する地域事業者の体制を整備することで継続的に販売可能な地域環境を整える。

2023年度

国内販売インフラの  
構築とBtoC販路拡大

圏域を統括した情報発信・販売システムを構築することで国内の誘客強化を行い観光振興の機運を高める。

2024年度

訪日外国人誘客  
への販路拡大

マーケットを国外に広げ積極的に海外への情報発信を行うことで、関係人口数を増やし、地域消費額の底上げを行う

2025年度（令和7年度）  
次期瀬戸芸及び  
大阪国際万博による  
相乗効果、拡大への期待

# 与島・本島等における 新たな滞在型周遊ツアー実施等業務 報告書

---

株式会社 SETOUCHI SEAWIND

催行日：2021年11月29日（月）～12月1日（水）



# 1. 調査概要

## 1 調査概要

- 実施日：11月29日（月）～12月1日（水）
- 訪問地：与島、本島、志々島、小豆島
- 参加者：10名

## 2 ねらい

- コロナ禍の影響を踏まえ  
インバウンド向け（欧米豪）→国内旅行者にターゲットを拡充
- 島しょ部における今後の観光回復を後押しするため、  
ツアー造成 → 「アクティビティの商品化」を目標にプログラムを構成する。

## 3 コロナ対策

- 密を避けるため2コースに分けて実施。
- 1泊2日を基本に少人数（各5名程度）で催行。

## 4 アクティビティ開発の工夫

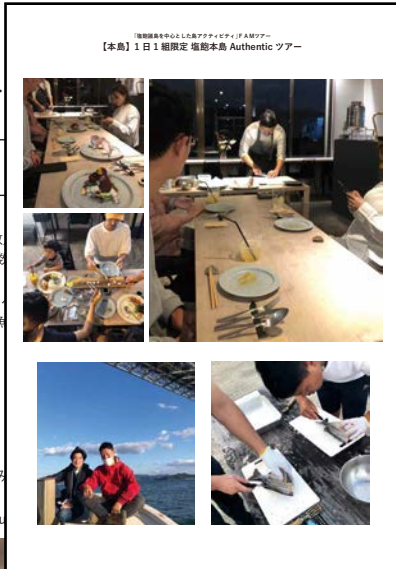
- あらかじめ「セールスシート」を作成、事業者が課題をわかりやすく。
- 「フィードバック会」で、商品化に向けて、OTAでの販売方法などをレクチャー。

# 1. 調査概要

## 【セールスシート例】

### 「塩飽諸島を中心とした島アクティビティ」FAMツアー・セールスシート

<b>ACT02-03-本島</b>	<b>1日1組限定 塩飽本島Authenticツアー</b>
<p>遊漁船クルーズや魚捌き体験など、ふらっと立ち寄っただけではできない特別な体験を提供。地元の漁師や島で働く人と触れ合いながら、島の日常に入っていくことで本来の豊かさをありのまま体感してもらおうプラン。</p> <p><b>【ハイライト】</b>          □漁船クルーズ：地元漁師が実際に漁で使用する漁船で瀬戸内海を案内。瀬戸大橋を真下から見ることができる。          □さかな捌き体験：島で働く20代の漁師と一緒に実際に生きた魚を締めるところから捌いていく。捌いた魚は夕食に。          □漁師飯×フレンチのコラボレーション：島の漁師が作る漁師飯と、島で働くシェフのフレンチのコラボレーション。さかな捌き体験で捌いた魚を、両方のスタイルで楽しめる贅沢な夕食。</p> <p><b>【所要時間】</b> 約8時間  <b>【実施時期】</b> 4～11月(要事前問合せ)  <b>【参加条件】</b> 7才以上、自転車に乗れる方  <b>【スケジュール】</b>          11:30 HONJIMA STAND 集合          受付・オリエンテーション・昼食          13:00 レンタル自転車で島内散策          14:30 本島漁師と行く瀬戸内クルーズ          15:15 タコ壺ベイト体験          16:00 さかな捌き体験          17:00 夕食(漁師飯×フレンチのコラボレーション)          19:00 終了          19:30 解散・乗船(本島港発丸亀港行)</p>	<p><b>【料金】</b>          ●個人：お一人 20,000円～(対応人数)          ●団体：1グループ20,000円～(対応人数)  <b>【料金に含まれるもの】</b>          昼食代・レンタサイクル代・クルーズ代・コ壺、さかな捌き体験時に使用する魚(節による・基本は鯛)・夕食代  <b>【お支払い方法】</b>          事前払い(クレジットカード・銀行振込)  <b>【料金に含まれないもの】</b>          本島までの交通費          昼食・夕食時のドリンク          本島内の有料施設の入館料(希望者のみ)  <b>【連絡先】</b>          Email : honjima.experience@kyu-fuku</p> <p><b>【予約方法】</b>          催行日の14日前まで</p> <p><b>インバウンド対応 / 受け入れを希望</b></p> <p><b>【対応言語】</b> 英語・その他(デンマーク語)  <b>【ガイド手配】</b> ローカルガイド  <b>【食事対応】</b>          事前にご相談ください。          ・お好み/魚or肉NGなど          ・アレルギー/小麦、卵、乳製品、甲殻類、ナッツ等  <b>【トイレ】</b> 洋式</p>
<b>提供事業者</b>	
<p><b>HONJIMA EXPERIENCE(合同会社久福)</b>          (香川県知事登録旅行業 第地域—263号)          担当者:久保田宏平          住所:香川県坂出市福江町二丁目1-43          TEL:050-3033-1929          E-mail:honjima.experience@kyu-fuku.com          HP:https://honjima-stand.com/sakanabu-tour/          IN:https://www.instagram.com/honjima_experience/</p>	<p><b>●島データ</b>  <b>【本島(香川県丸亀市)】</b>          面積:6.75km<sup>2</sup> 周囲:17.4Km          人口:396人(平成27年国勢調査)          年間来場者数:61,000人(「シマダス2019」より)          アクセス:丸亀港から定期船で最短35分</p>



「塩飽諸島を中心とした島アクティビティ」FAMツアー  
 【本島】1日1組限定 塩飽本島 Authentic ツアー



### 「塩飽諸島を中心とした島アクティビティ」FAMツアー・セールスシート

<b>ACT04-志々島</b>	<b>樹齢1200年の大楠 &amp; おしゃれピクニック</b>
<p>志々島のシンボルツリーである樹齢1200年の大楠を中心に、地元ガイドが案内するディープな島さんぽ。ランチは巨樹が見守るパワースポットで、大人の「おしゃれピク(おしゃれピクニック)」を楽しめます。</p> <p><b>【ハイライト】</b>          □「両墓制」など、島ならではの民俗が残る志々島の暮らしを地元ガイドと一緒に体感。          □樹齢1200年の大楠を眺めながら、島で唯一のカフェ「くすくす」特製のランチボックスで、大人のピクニックを楽しめます。</p> <p><b>【所要時間】</b> 2時間  <b>【実施時期】</b> 通年(要事前問合せ)  <b>【参加条件】</b> 自分で歩ける方          (大楠まで一部山道あり)  <b>【スケジュール】</b>          10:00 「休けい処 くすくす」集合          島内さんぽ          大楠参拝          ピクニックランチ          12:00 終了          ※スタート時間やコース内容は応相談</p>	<p><b>【料金】</b>          ●ガイドツアー:10,000円/団体          ●ランチボックス:1,500円/人～(内容は応相談)          ●海上タクシー:          宮の下港～志々島/3,300円(1～3人まで、1名追加ごとに550円追加。小学生半額・乳幼児は無料)  <b>【予約方法】</b>          催行日の14日前まで  <b>【連絡先】</b>          株式会社志々島ダイナミクス          E-mail:info@shishijimadynamics.com          TEL:0875-83-9555</p> <p style="text-align: center;"><b>インバウンド対応 / 受け入れを希望</b></p> <p><b>【対応言語】</b> 英語  <b>【ガイド手配】</b> ローカルガイド、通訳案内士  <b>【食事対応】</b> 応相談  <b>【トイレ】</b> 公衆トイレは和式のみ(応相談)</p> <p style="text-align: center;"><b>提供事業者</b></p>
<b>アクティビティの造成意図</b>	
<p>人口1000人以上だったが、過疎高齢化は人口18人。一方、近年移住希望者が増6年間で8人が移住したが、島内に仕事を余儀なくされる人も。志々島を未来にため、観光を通じた島の生業づくりに。</p>	
<b>志々島ダイナミクス</b>	
<p>県三豊市詫間町志々島328          -83-9555          o@shishijimadynamics.com          //shishijimadynamics.com          //www.facebook.com/sisijimadynamics/</p>	<p><b>●島データ</b>  <b>【志々島(香川県三豊市)】</b>          面積:0.74km<sup>2</sup> 周囲:3.8Km          人口:18人(平成27年国勢調査)          年間来場者数:3,850人(「シマダス2019」より)          アクセス:詫間(宮下)港から定期船で20分</p>



「塩飽諸島を中心とした島アクティビティ」FAMツアー  
 【志々島】樹齢1200年の大楠&おしゃれピクニック



## 2.参加者

### ●FAMツアー参加者

NO	分類	社名	部署	コース
1	旅行会社	近畿日本ツーリスト中国四国 中国四国地域交流センター支店	広島支店 MICE・地域交流担当	A
2	OTA	じゃらん遊び・体験予約	(株)リクルート着地型観光推進部	A
3	交通	四国ツーリズム創造研究所	事業推進本部(インバウンド担当)	A
4	交通	高松空港	航空営業部	A
5	観光協会	丸亀市観光協会	事務局長	A(日帰り)
6	自治体	三豊市	政策部 産業政策課	A(日帰り)
7	OTA	Attractive Japan (地域ブランディング研究所)	香川担当	B
8	旅行会社	株式会社JTB高松支店	営業2課 営業担当課長	B
9	交通	高松空港	航空営業部	B
10	観光協会	香川県観光協会	事務局長	B(日帰り)

# 3.旅程表

## [A コース]

日	時	所要時間	移動手段	内容	
11/29(月)	9:20			JR児島駅 集合	
	9:30	9:50	30	貸切バス	移動/児島観光港→与島プラザ
	10:00	13:00	3H		<b>アクティビティ1/与島(瀬戸大橋塔頂体験)</b> ・塔頂体験 ・ランチ@与島プラザ
	13:00	13:10	10	貸切バス	移動/与島プラザ→棧橋
	13:10	14:10	60	船	移動/与島→本島(笠島漁港)經由→本島(本島港) 笠島にて、笠島伝建地区見学(宿紹介)
	14:30	18:00	3.5H		<b>アクティビティ2・3/本島(さかな部ワークショップ)</b> ・漁師による魚さばき体験 ・本島の将来ビジョンについて(空き家を活用した民泊事業等) ・地魚を使った島ディナー ・地元事業者との意見交換会
	18:00	18:30	30	車 (片道5分、 ピストン)	移動/本島スタンド→笠島地区
	19:00	20:00	1H		フィードバック会(予定) (ご参加者へのヒアリングタイム)
	20:00				解散
	11/30(火)	6:30	7:20		希望者/日の出さんぽ(遠見山展望台) 日の出:6:49
9:00				宿で朝食、9:00チェックアウト	
9:10		9:50	40	船	移動/本島→志々島
10:00		12:00	2h		<b>アクティビティ4/志々島編(大楠ピクニック)</b> ・大楠さんぽ+ピクニックランチ
12:00		13:30	1.5H	船	<b>アクティビティ5/ラグジュアリークルーズ</b> 移動/志々島→高松港
13:30					高松港着/解散

## [B コース]

日	時	所要時間	移動手段	内容	
11/30(火)	13:20			集合/高松港高速船チケット売り場	
	13:30	14:30	1H	船	移動/高松港→小豆島(草壁港) <b>アクティビティ5/ラグジュアリークルーズ</b>
	14:30	17:10	約3H	貸切バス	<b>アクティビティ6/小豆島①(山岳霊場めぐり)</b> 石門堂→清滝山→四方指し展望台(夕日)
	17:10	17:50	40min	貸切バス	移動/四方指し展望台→森國カフェ
	18:00	19:30	1.5H		夕食/酒蔵の杜氏ごはん@森國カフェ ・利き酒 ・酒粕づくしの「杜氏ごはん&スイーツ」
	19:30	20:00	30min	貸切バス	移動/森國カフェ→宿
	20:00				解散
	12/1(水)	9:00			宿で朝食&チェックアウト
9:00		9:15	15min	貸切バス	移動/9:00 お泊まり忠左衛門 → 9:10 三都の郷→ 9:15 皇子神社 着
9:20		9:50	30min		ジオパーク見学@皇子神社
10:00		14:00	3.5H~ 4H	貸切バス	<b>アクティビティ7/小豆島②(ジオ・ジオフード)</b> ・生産地見学①/オリーブ@高尾農園 ・生産地見学②/橋漁港 (天候不順により資料プレゼンに変更) ・「さめぎOSHINUKI寿司」体験 ・ジオランチ@Furyu (渋谷シェフの解説を聞きながらライブキッチン &島食材でイタリアンランチ)
14:00		15:30	1.5H		フィードバック会(意見交換会)
15:30		16:00	30min	貸切バス	移動/FURYU→土庄港
16:30 or 17:50		17:30 or 19:19	1H	船 (定期船)	移動/小豆島→高松港or 宇野港 解散



## 4.提案アクティビティ

### 【塩飽諸島】

#### ●与島



ACT\_01

#### 瀬戸大橋塔頂体験

従来の塔頂ツアーに地産地消ランチをプラスしてご提案。

#### ●本島



ACT\_02 & 03  
さかな部  
ワークショップ

島の漁師に学ぶ瀬戸内の魚三味な体験。漁師自ら魚のさばき方や地魚の美味しい調理法を伝授。自ら調理して、美味しく島魚を味わいます。合わせて、現在、本島で進行中の空き家を活用した宿泊事業についてもプレゼンします。

#### ●志々島



ACT\_04  
大楠ピクニック

樹齢1200年の大楠ツアーに軽食をプラス。巨樹が見守るパワースポットで、大人の「おしゃピク（おしゃれピクニック）」をご提案。

#### ●クルージング



ACT\_05  
ラグジュアリー  
クルーズ

志々島～小豆島までの移動時間を利用し、瀬戸内アイランドクルーズのクルーザーで、ラグジュアリーな船上タイムを過ごします。

## 【小豆島】

### ●与島



#### ACT\_05 山岳霊場ツアー

小豆島の「山岳霊場」をジオパーク視点での解説を交えながら案内。個人では巡にくいフォトジェニックな山岳霊場を選びすぐってコースに。見慣れた小豆島とは一味違うヒーリングツアーです。

### ●本島



#### ACT\_06 ジオフード

地元のイタリアレストランFuryuの渋谷オーナーシェフ監修による生産者を巡りながら地元食材を味わうガストロノミーツアー。漁港&オリーブ農園を訪ね、小豆島ならではの魚介とオリーブを使ったランチを味わいます。

### ●志々島



#### ACT\_07 森國カフェの利き酒と 杜氏ごはん

小豆島で唯一の日本酒蔵「小豆島酒造」が営むカフェで、蔵元の解説を聞きながら利き酒を体験。そのあとは酒蔵自慢の酒粕をたっぷり使った杜氏ごはんと酒粕スイーツを楽しみます。



# 5.当日の様子

ACT01 / 瀬戸大橋塔頂体験(与島)



ACT0203 / さかな部ワークショップ(本島)



ACT04 / 大楠ピクニック(志々島)



ACT05 / 船旅クルーズ





ACT06 / 山岳霊場巡り



ACT07 / ジョーフード

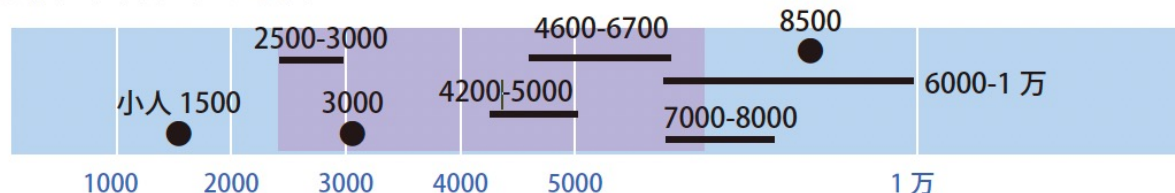




## 【ACT01 / 瀬戸大橋塔頂体験】

- 全体の満足度 4.4
- 料理の満足 3.6
- 設定価格 1.3万/人  
(見学@9万(18人まで)食事@2300)
- 評価平均価格 5,714円

• 大人一人あたりの単価



## 【ACT0203 / 本島さかな部】

- 全体の満足度 4.8
- 料理の満足 4.9
- 設定価格 2万/人
- 評価平均価格 7,806円

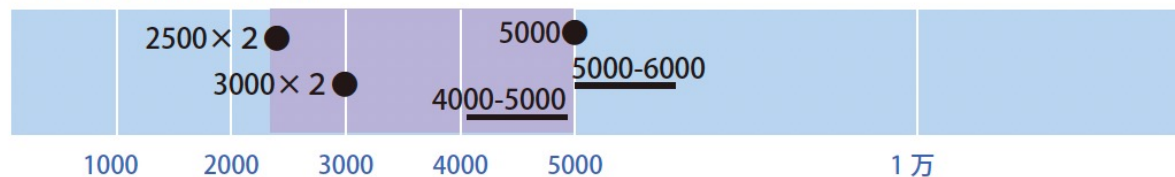
• 大人一人あたりの単価



## 【ACT04 / 志々島大楠ピクニック】

- 全体の満足度 4.1
- 料理の満足度 3.4
- 設定価格 2500/人  
(ガイド@1万、食事@1500)
- 評価平均価格 3,714円

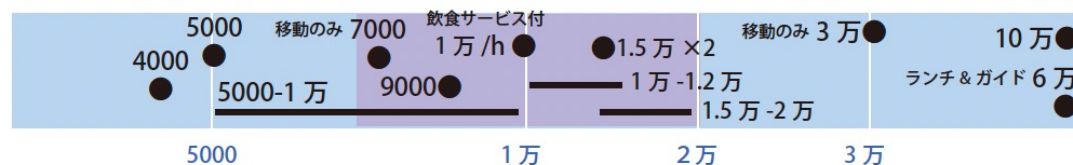
• 大人一人あたりの単価



### 【ACT05 / ラグジュアリークルーズ】

- 全体の満足度 4.1
- 設定価格 2万/人  
(今回のチャーター料 20万(7H))
- ※コースによって異なる
- 評価平均価格 22,385円

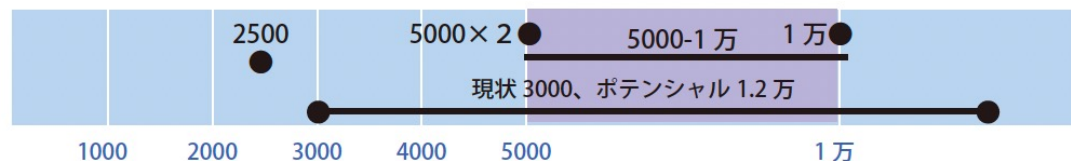
- 大人一人あたりの単価



### 【ACT06 / 山岳霊場ツアー】

- 全体の満足度 4.2
- 設定価格 4000/人  
(ガイドなし、4人まで16020円)
- 評価平均 6,429円

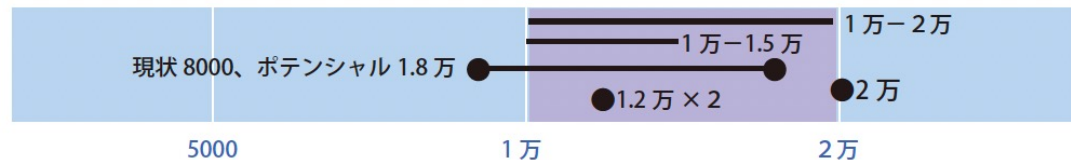
- 大人一人あたりの単価



### 【ACT07 / ジオフード】

- 全体の満足度 4.3
- 料理の満足 4.4  
(SANUKI 押し抜き寿司 4.2)
- 設定価格 1万/人
- 評価平均 18,000円

- 大人一人あたりの単価



### 【ACT08 / 森國カフェの利き酒 & 杜氏ごはん】

- 全体の満足度 5
- 設定価格 3000/人
- 評価平均 6,833円

- 大人一人あたりの単価





## 6. 評価(FAM全体)

1

### FAM全体の満足度は4.5 (5段階)

「瀬戸内ならでは」「現地に行かなければ体験できない必然性」「**地元の人との交流**」「SDGs視点」が高評価

2

### 各アクティビティの満足度は平均4.4 (5段階)

・販売価格は、アクティビティによって評価が分かれ、設定価格より高評価がある一方、価格にバラツキのあるアクティビティは、ターゲットや価格設定を見直す余地あり。

・**参加サプライヤーの大半**が、商品化に向けて**取り組みの継続を希望**。

3

### ジオパーク視点での解説は満足度3.6 (5段階)

「今までにない視点で、**島の新しい魅力が深掘りできる**」と可能性に期待大。

## 想定ターゲット

### 【国内】

ファミリー、教育旅行 (BtoB含む) への展開に可能性あり。

- ・特にSDGsや**サステナブル視点**でのツアー開発に期待。
- ・基本のレギュレーションは、**少人数、高価格層向け**。

4

### 【海外】

「欧米豪」と「東アジア (台湾・香港)」が中心。

- ・アクティビティによって多少違いはあるが、全体的に**欧米の富裕層向けメニューとして一定の評価を獲得**。



### ●実施概要

- ・開催日時/12月20日(月)10:00-12:00 ・場所/ZOOMオンライン ・参加者/7名
- ・スケジュール/ 10:00-11:00 FAMのフィードバック(アンケート結果/サプライヤーの感想や今後の要望etc)  
11:00-12:00 販売に向けた意見交換(アドバイザーより/OTAでの販売方法やコツetc)
- ・アドバイザー/アクティビティジャパン・三上宣子氏
  - ・アクティビティジャパンは、HISグループの「着地型観光専門OTA」
  - ・国内外向けに、約370種目、15000プランの体験メニューを販売(5ヶ国語対応)
  - ・せとうちDMOと提携、「せとうちメンバーズ」向けのOTA販売サポートも行っている

### ●実施結果

#### 【サプライヤー、現地ガイドからの要望・意見】

- 現地ガイド、サプライヤーからは「FAM参加者から一定の評価を得られて自信がついた」「旅行関係者に直接質問→回答をもらうことができとても参考になった」等、一定の効果が実感できたとの感想。
- 参加サプライヤー全員が、今後も商品化して実際に販売していくことを希望。
- 商品化に向けた課題や要望は以下の通り。

#### (1)商品化に向けて、一番欲しいのは「営業と広報」支援。

・本業のかたわらアクティビティ開発に取り組むサプライヤーが多く、現場対応はできても、OTAへの情報提供や予約管理、旅行会社との調整など、営業部分までは手が回らないので、最初は何らかサポートがあるとスタートしやすい。

#### (2)旅行業法に関する研修と、販売に必要な旅行事業者とのネットワークづくり

・島内移動用のタクシーチャーターなど、今後、旅行業法に則って利用者の利便性を図りながら催行していくには、旅行事業者等との連携が欠かせない。サプライヤー自身がやれること、できないことを整理するための旅行業法に関する勉強会と、それに伴い必要になってくる旅行事業者とのマッチングの機会があれば良い。

#### 【アドバイザーからのOTA販売に関する助言】

- アドバイザーの三上氏からは、コロナ禍後の旅行ニーズの変化や、人気アクティビティの傾向、特に島体験に利用者が求めるポイントなど、商品化に向けて、より実践的なアドバイスをいただいた。
- OTAの良い点は、サプライヤー自身が販売チャネルをもち、お客様の反応を見ながらアクティビティの改善が図れること。掲載無料なので、着手のハードルが低いのも魅力。まずは記事掲載して「走りながら考える」のが成功の早道と助言いただいた。



アクティビティジャパン資料より



## 8. 課題と改善提案

### ☑ 課題01

サプライヤ同士、旅行関係者との  
**継続的な情報交換の場**づくり

- 課題やわからないことがあれば「互いに聞ける」環境づくりが、商品化を後押しする。
- そのために、SNS等で関係者のグループをつくるなど、ネットワークづくりの体制を整備する。

### ☑ 課題02

**デスティネーションマーケティング**の強化

- SNS等での認知度アップの情報発信とOTA等流通チャネルの整備を並行して実施。
- 商品をつくるだけでなく、「広めて」「売る」取り組みが不可欠。

### ☑ 課題03

**全天候型**で催行できる工夫

- 雨天時や船が欠航になった場合の代替プランを用意。
- 島旅は天候に左右されやすく、悪天時の催行は顧客満足度の低下を招くため、欠航でない場合でも、より柔軟な選択肢があると良い。

### ☑ 課題04

**利用者が参加しやすい催行条件**の工夫

- 事前予約期間の短縮、少人数での催行、船移動の低価格化やチャーターの簡易な仕組みetc。
- 提供する側の要望と利用者の利便性の「すり合わせ」が必要。

# プロフィール

## 公的な肩書き

株式会社ゴーフィールド 取締役会長

NPO法人アーキペラゴ 副理事長

NPO法人わははネット 理事

一般社団かがわガイド協会 理事 事務局長

株式会社風向 取締役

かがわ里海大学 運営委員

香川県海岸漂着物対策活動推進員

高松市シティプロモーション戦略アドバイザー

高松市ゼロカーボンシティ推進アドバイザー

## いろんな活動

せとうちクリーンアップフォーラム 事務局

自然公園指導員（環境省）

自然観察指導員（自然保護協会）

漂着物学会 会員

NPO法人どんぐりネットワーク 会員

一般社団法人JEAN 会員

## 趣味など

漂着物収集、低山ハイク、自然観察、カニ捕り、ジョギング、散歩、鉄道鑑賞、ボードゲーム、泡盛、週末料理

## 仕事

左記、会社などの経営。各地の専門学校、大学の非常勤講師。IT活用、創業支援、ビジネスモデル構築、ネットを使った経営戦略、プロジェクトマネジメントなどのお手伝い。

香川県が進めている里海づくり活動のお手伝い。

海ごみ対策、ガイド育成ツアープログラム開発なども。

## 家庭では

愛妻と、元気な息子と、かわいい娘との4人家族です。

## 森田 桂治

1969年 10月25日生れ。香川県出身

1992年 立命館大学産業社会学部

産業社会学科卒業

フォロー・友達申請お気軽にどうぞ

<http://twitter.com/kmorita/>

<http://www.facebook.com/keijimorita>











































香川大学大学院地域マネジメント研究科による発表

持続可能な観光から  
エウダイモニックなウエルビーイングを実現する  
地域活性化へ

香川大学大学院地域マネジメント研究科  
原 真志・関 庚炫・佐藤勝典・西村美樹

# コンテンツ

- 1. イントロダクション
- 2. 食文化による地域活性化
- 3. 瀬戸内海の島々のイメージ体系及び観光資源に関する評価
- 4. 讃岐広島での地域づくりの担い手と地域意識の醸成
- 5. 島旅活性化の成果のまとめ及び今後の方向性



# 1. イントロダクション

## 瀬戸内島旅活性化研究会が目指すこと

### テーマ

地域社会の充実をベースとした持続可能な観光による地方創生

＝観光に頼る地域活性化ではなく、地域の人々が活躍できる観光の場を創造

### 方策

島民とのコミュニケーションを重視し、地域の現状把握、人々の意思を確認する

地域本来の特性を生かし、島民が参加する意欲を持てる取組みを共に練り上げる

大きな社会経済の動きの中で島の可能性を見出し、

必要な外部プレイヤーとの適切な協力関係を構築し、島の間をつなげ、

地域を中心としたビジネスの仕組みを構築し、島に魅力的な雇用の場を生み出す

### ゴール

人々が生き生きと幸せに暮らすことができる島を実現する



キークエスチョン

島旅活性化は  
いかなる価値を  
誰にもたらすのか？

## 2. 食文化による地域活性化



2021年10月「世界の持続可能な観光地TOP100選」に小豆島が選出されました。  
(オランダの非営利団体グリーン・ディスティネーションズ)

「持続可能な観光」とは、地域資源を生かし、自然環境・文化・  
伝統を守り、そこに暮らす人々の未来に配慮した観光

(引用:小豆島町HP)



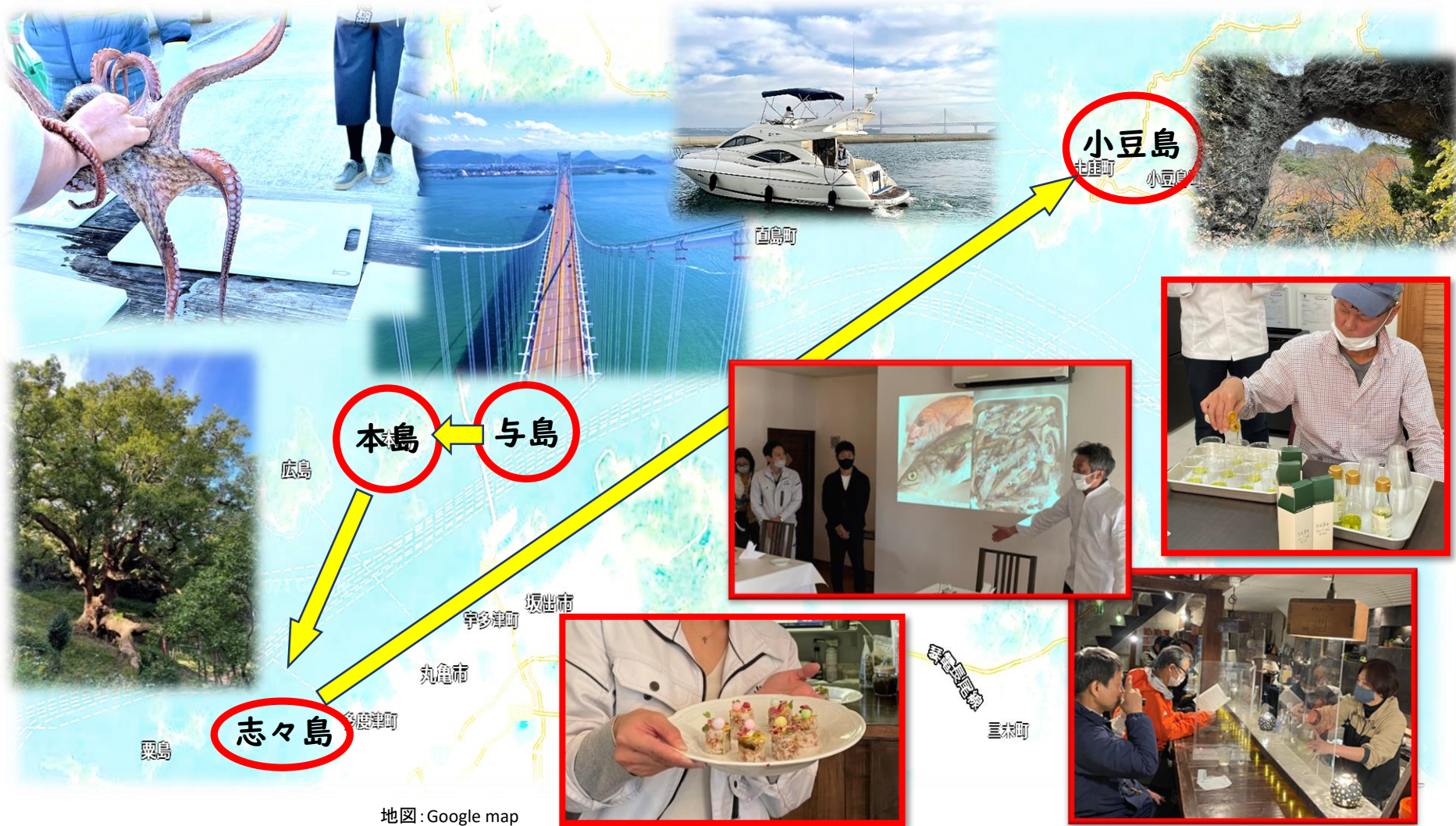
大地の生い立ち(自然)としてのジオ、そこから生まれた文化・伝統を色濃く表現するフードを組み合わせた「ジオフード」という観光コンテンツは、旅行者の知的好奇心に働きかけ、地域への理解を深め、そこに暮らす人々の未来に配慮した新しい観光資源となります。

# ジオフード FAMツアーについて

(※2021年11月29日～12月1日実施「塩飽諸島・小豆島でのアドベンチャーツーリズムをテーマとした「島アクティビティ」FAMツアーの一部)

## ◆ 瀬戸内海の地形から生まれたジオフードをアクティブに楽しみ学ぶ体験コンテンツ。

本島では「さかな部」の活動、小豆島ではオリーブ農家でオイルティastingなど食の事業者を巡り、ジオにちなんだワークショップなどを開催し、島のサスティナブルな取り組みを楽しみ学ぶコンテンツを実施しました。



地図: Google map



# ジオフードFAMツアー 小豆島での訪問先一覧

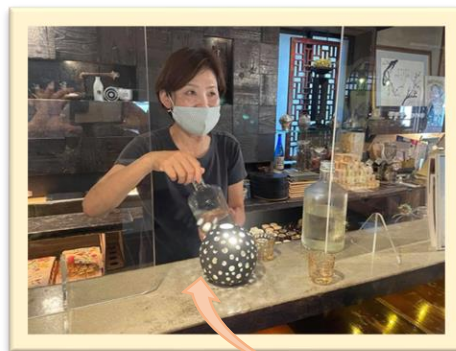


## FAM参加者の声

- ◆ ジオフードは今までにない視点で、島の新しい魅力が深堀できる。
- ◆ 生産者とのコミュニケーションがとれる+ランチのパッケージは販売できる可能性があると感じた。
- ◆ 食をくくりにしたツアーは国籍を問わず人気。特に欧米層を狙うならかなり魅力的なテーマ。
- ◆ 国内トップクラスのオリーブ農園や瀬戸内海独特の魚も楽しめるとなると面白い。渋谷シェフが全体をガイド可能なら面白いコンテンツになる。
- ◆ 生産者の生の声や思いを聞くことができ、双方向でのやり取りには大きな付加価値があると思う。
- ◆ 体験する地元食材を使用した料理教室の満足度が高い。漁協の方の話も興味深く、実際に体験したいと思わせてくれた。
- ◆ 単にコンテンツだけ体験するのではなく、背景のストーリーまで触れられたからこそ非常に深みのある旅となったように思う。

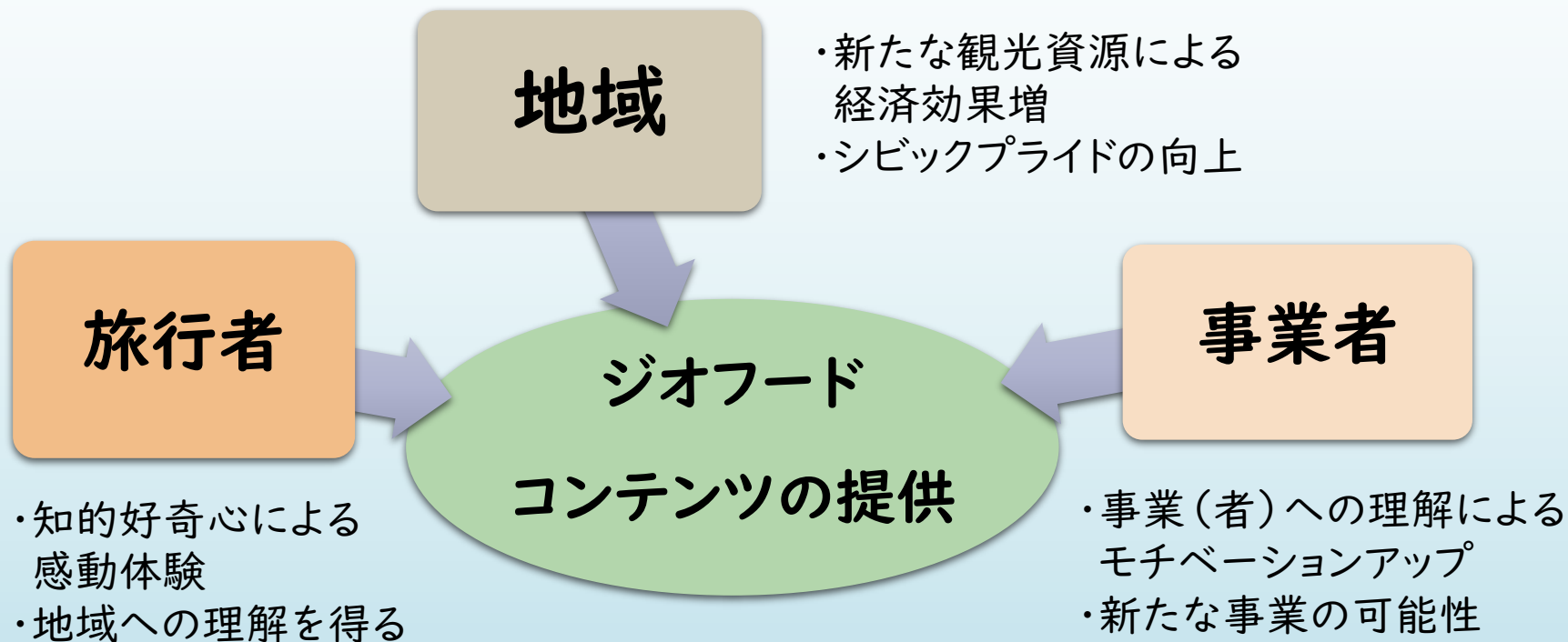
## レストランテFURYU渋谷シェフ(池田漁協さん、高尾農園さん)の感想とその後

- ◆ コロナ禍などで、お客様を待っているだけではダメだと感じていたので、新しい可能性を試みる良い機会になった。
- ◆ FAMツアーでの高評価が自信となった。
- ◆ 現在、旅行会社にツアーの企画を持ち込んでいる。





## ジオフードコンテンツの提供による「三方よし」のイメージ



難しいイメージを持たれがちなジオの知識を、身近で関心の高い食(フード)と絡めて分かりやすく解説するジオフードコンテンツの提供は、旅行者、地域、事業者、それぞれの視点からサステイナブルについて学び考え、そして楽しめる、「三方よし」の新しい観光資源になると考えます。

ただし、ガイドの教育や事業者の連携などにはしっかりとした準備が必要です。

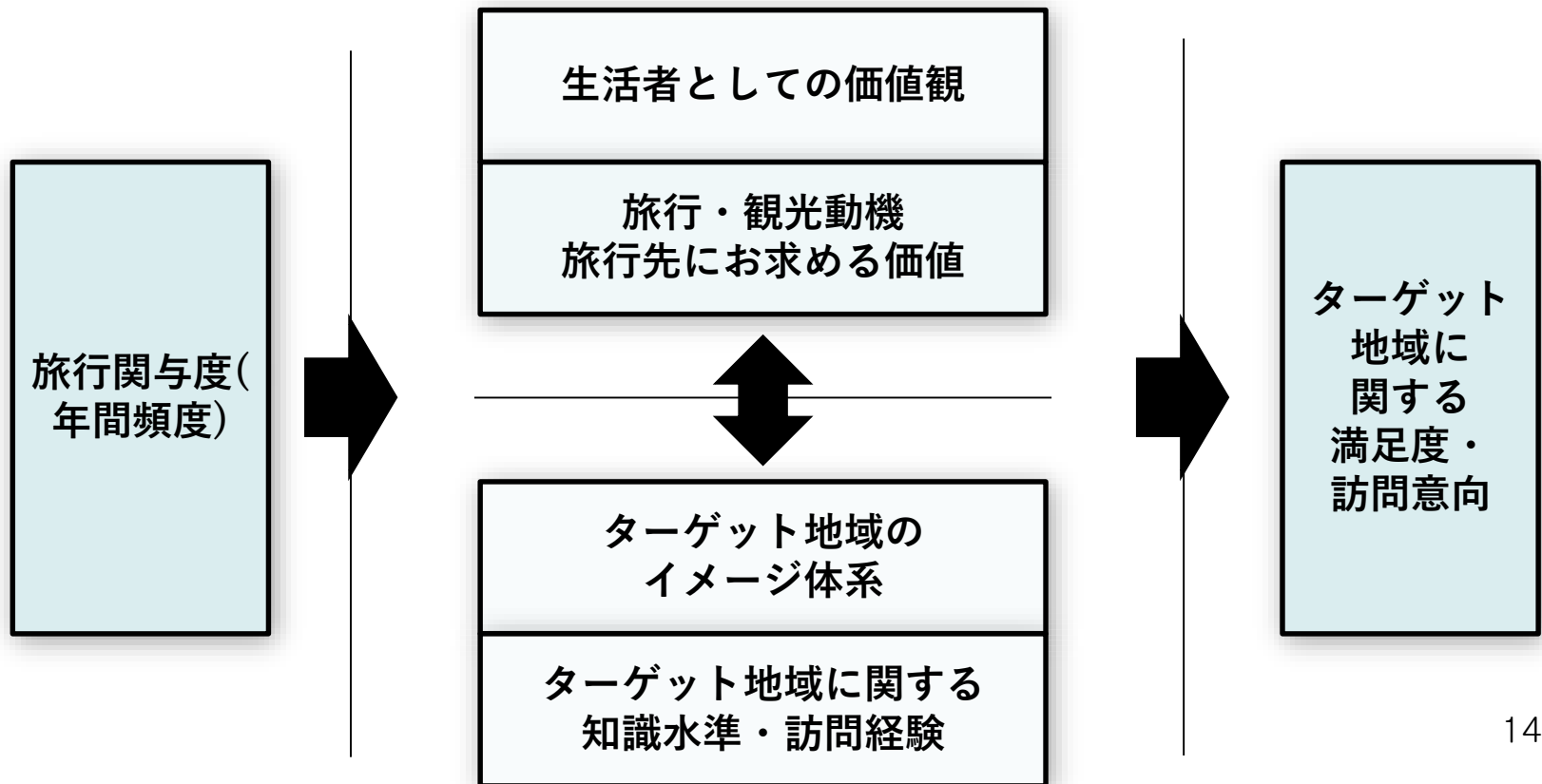
### 3. 瀬戸内海の島々のイメージ体系 及び観光資源に関する評価



# 瀬戸内海の島々のイメージ体系及び 観光資源に関する評価

## 研究対象と調査分析

- 分析対象地域：瀬戸内海の12ヶ所の島（直島・小豆島・男木島・女木島・豊島・手島・与島・さぬき広島・本島・小手島・栗島・志土島）
- 2021年12月から2022年2月にかけて作成し、アンケート調査をウェブ上で実施。
- 調査対象者は、47都道府県の20~80代の男女500名。
- 「生活者としての価値観」「過去における旅行・観光関連行動の実態」「旅行・観光に関する動機付け要因」「旅行・観光先に求める価値構造」「瀬戸内海12島に関するイメージ体系・満足度・態度・訪問意向」など、計206項目。
- 「過去5年間に於いて、瀬戸内海地域の12ヶ所の島への旅行・観光を1回以上したことがある人」を主たる回答者属性としてスクリーニングを行い、500名の有効回答者数を確保した。





# 生活者としての価値観の変化

		本調査		昨年度	
		平均値	SD	平均値	SD
貢献志向型	地域貢献 ***	3.21	.978	2.85	.984
	ボランティア **	2.85	1.064	2.49	1.078
	寄付する **	2.89	1.065	2.46	1.031
	社会貢献 ***	3.34	.987	2.66	.997
	平和に貢献 **	3.05	1.052	2.61	1.017
	環境に貢献 **	3.54	.967	3.21	.980
	社会問題解決	3.05	1.004		
生活・健康重視型	ワークライフバランス **	3.86	1.050	3.49	1.050
	自己啓発 **	3.59	.926	3.29	.970
	家族重視 ***	4.05	.904	3.89	.963
	趣味活動 **	3.64	.959	3.48	1.026
	健康重視 ***	4.07	.887	3.86	.917
	長生き	3.44	.946	3.35	.909
	友人重視 ***	3.72	.885	3.45	1.020
	新たな挑戦 **	3.44	.942	3.08	.967
	自然との調和	3.51	.910		
仕事重視型	収入重視 ***	3.39	.970	2.99	1.045
	有名願望 ***	3.44	.953	2.00	.970
	高い地位 **	2.60	1.143	2.25	1.058
	仕事重視	3.46	1.015	3.20	1.112

各項目間の相対的水準は両者共に類似した傾向となっている中、「生活・健康重視型」、中でも「ワークライフバランス」「家族重視」「健康重視」に関する評価が相対的に高い水準となっていた。

「貢献志向型」の価値観では今新規追加項目の「社会問題解決」を除き全項目が、「生活・健康重視型」では計9項目のうち7項目、「仕事重視型」では計4項目のうち3項目が相対的に高い水準となっている

家族と健康に対する意識を中心に生活と仕事の調和を図ろうとする傾向がある。貢献活動や仕事関連項目についても一定水準以上の評価をしており、本調査の回答者が属性的特徴としてより能動的な姿勢を有している準拠集団に属していると言える。

\*は10%水準で有意、\*\*は5%水準で有意、\*\*\*は1%水準で有意を示している。

# 旅行・観光に関する動機付け要因

			高関与群		低関与群	
			平均値	SD	平均値	SD
安全	衛生管理	***	3.87	.774	3.64	.819
	医療施設	**	3.55	.858	3.33	.857
	有名な地域	***	4.11	.795	3.78	.865
	賑わいのある	**	3.37	.950	3.15	.958
	馴染みの地域	**	3.35	.920	3.17	.824
自己実現 自己啓発	史跡・文化財	***	3.95	.858	3.65	.976
	好奇心を満たす	***	3.87	.875	3.46	.927
	自己発見	***	3.41	.974	3.10	1.013
	自己理解	***	3.32	1.032	3.08	1.010
	自己研鑽	*	3.18	1.036	3.00	1.022
	新しい生き方	***	3.36	1.012	3.04	1.013
	自分だけの体験	***	3.64	.925	3.27	.928
	文化・歴史を知る	***	3.91	.824	3.66	.966
	地域価値観を知る	***	3.76	.870	3.46	.887
	知識の取得	***	3.66	.809	3.39	.887
休養	買い物を楽しむ	***	4.05	.825	3.69	.947
	料理を楽しむ	**	4.20	.911	3.97	.870
	お酒を楽しむ	***	3.47	1.204	3.10	1.248
	贅沢な旅	***	3.68	.885	3.38	.994
	古き良き時代	***	3.63	.849	3.38	.915
	ストレス発散	***	3.96	.839	3.74	.861
	思い出を楽しむ	**	3.41	.939	3.22	.889
	思い出づくり	***	4.09	.863	3.77	.928
	休みたい	***	3.89	.997	3.60	.979
	心を癒す	***	4.16	.782	3.89	.874
	自然を楽しむ	***	4.09	.776	3.81	.925
	気分転換	***	4.26	.692	3.96	.824
	ゆったりした時間	***	4.15	.784	3.86	.866
関係・交流	現地文化	**	3.79	.864	3.42	.949
	現地交流	**	3.39	1.048	3.19	1.112
	類似集団	**	3.16	1.033	2.97	1.041
	家族と楽しむ	***	3.99	.963	3.71	1.021
	友人と楽しむ	***	3.82	.943	3.50	.975
	地域行事に参加	***	3.75	.836	3.36	.872
承認・評価	自慢できる体験	*	3.18	1.094	3.01	1.048
	人に評価される	*	2.96	1.127	2.78	1.080
刺激	冒険を楽しむ	***	3.35	1.003	3.05	1.006
	非計画	***	3.49	.993	3.17	.997
	アウトドア	***	3.46	1.024	3.07	1.013
	希少体験	***	3.72	.906	3.32	1.088
	刺激を楽しむ	***	3.72	.852	3.38	.977
	非日常	***	3.89	.904	3.52	.975
	人は知らない地域	***	3.50	.955	3.18	.988

- 全体の傾向は、年間の旅行頻度の高いグループ（高関与群）と低いグループ（低関与群）においても同様に確認された。
- 特に低関与群においては、「現地での交流」「類似集団との出会い」「地域行事・イベントに参加」といった、人との接触機会が多いと想定される項目や、「希少体験」「刺激を楽しむ」「非日常」などの項目が著しく低下しており、低関与群においては交流及び刺激動因が訴求力を持たないことが確認された。

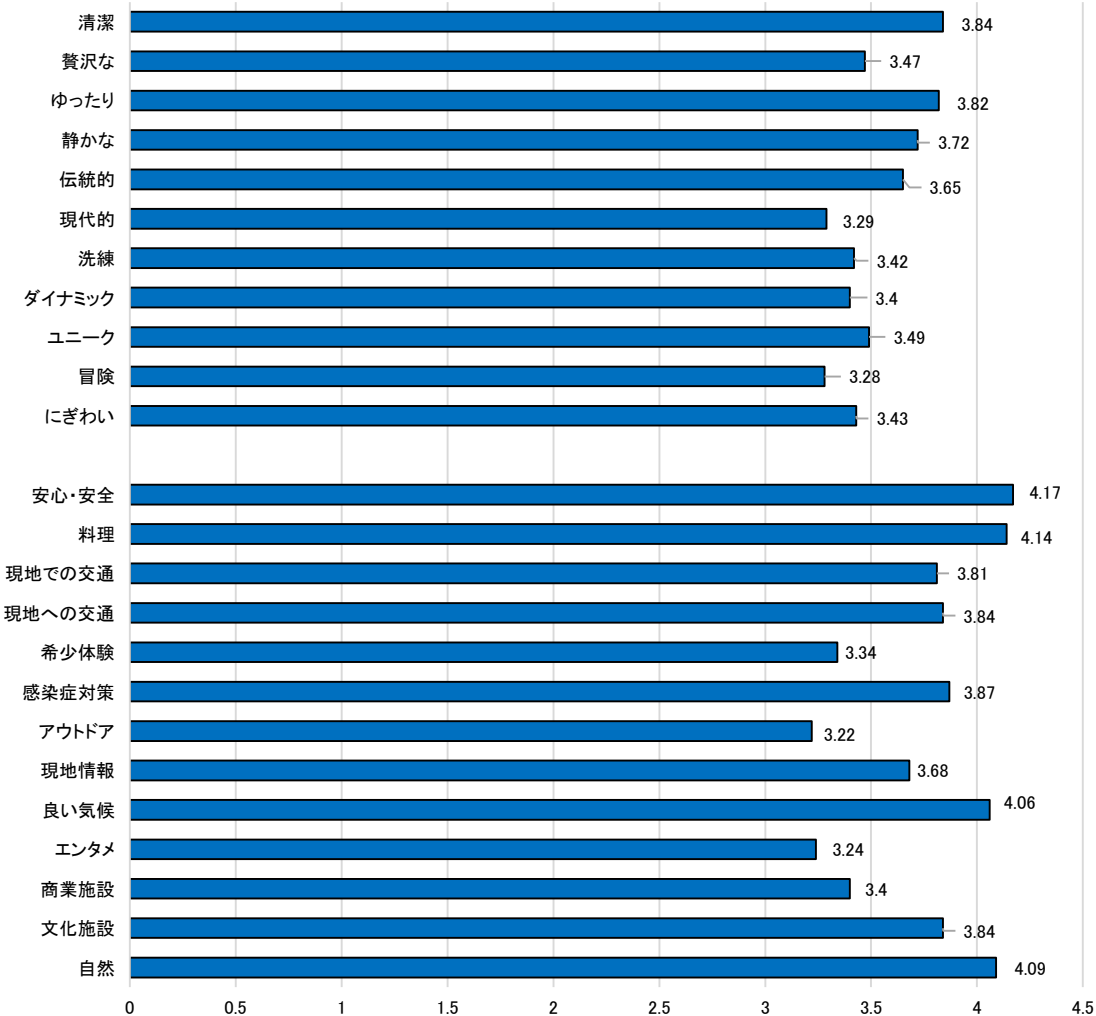


このような結果は、潜在顧客層でもある低関与群における旅行・観光に関する動因が主要顧客層である高関与群とは明示的に異なっていることを意味しており、それぞれのセグメントのニーズに見合う施策が求められていることを示唆するものであるとも言える。

\*は10%水準で有意、\*\*は5%水準で有意、\*\*\*は1%水準で有意を示している。



# 旅行・観光先に求める項目



(n=500、数値は平均値)

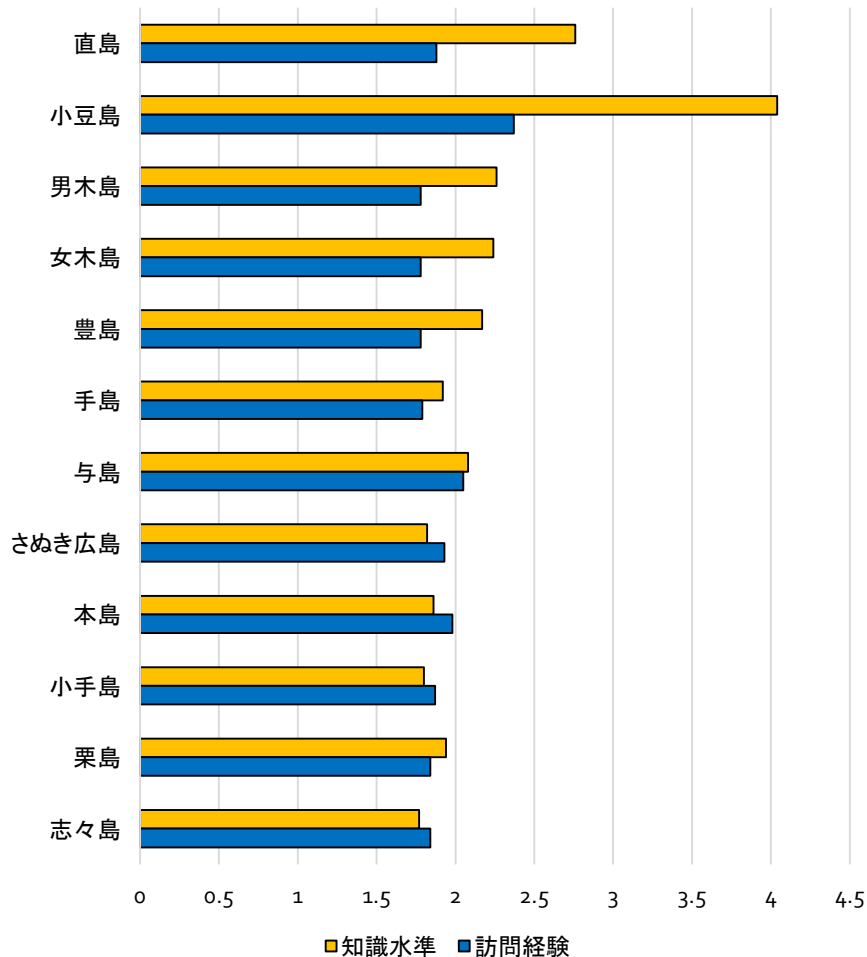
- いずれの項目においても一定水準以上の評価となっており、中でも特に「安心・安全」「料理」「気候」「自然」「現地への交通」「現地での交通」「感染対策」などの認知的評価が総じて高く評価され、「アウトドア」「エンタメ」「希少体験」「商業施設」などは相対的に低水準にとどまっていた。
- 情緒的評価項目では、「ゆったり」「静か」「伝統的」「清潔」が高く評価されていたのに対し、「冒険」「現代的」「ダイナミック」といった項目は相対的に低い評価となっていた。

↓

コロナの影響もあり、人との接触機会の多い施設利用が随伴される項目や、刺激動因を牽引する項目に対する評価が阻害されていることが確認された。

17

# ターゲット地域の知識水準と訪問経験



(n=500、数値は平均値)

- 知識水準と訪問経験共に総じて低い水準となっている。
- 知識水準については直島、小豆島、男木島、女木島、豊島を除きいずれも名称認知レベルにとどまっている。
- 訪問経験についても直島、小豆島、男木島、女木島、豊島、与島以外の島は2回以上の反復行動の水準には至っていないことが確認された。

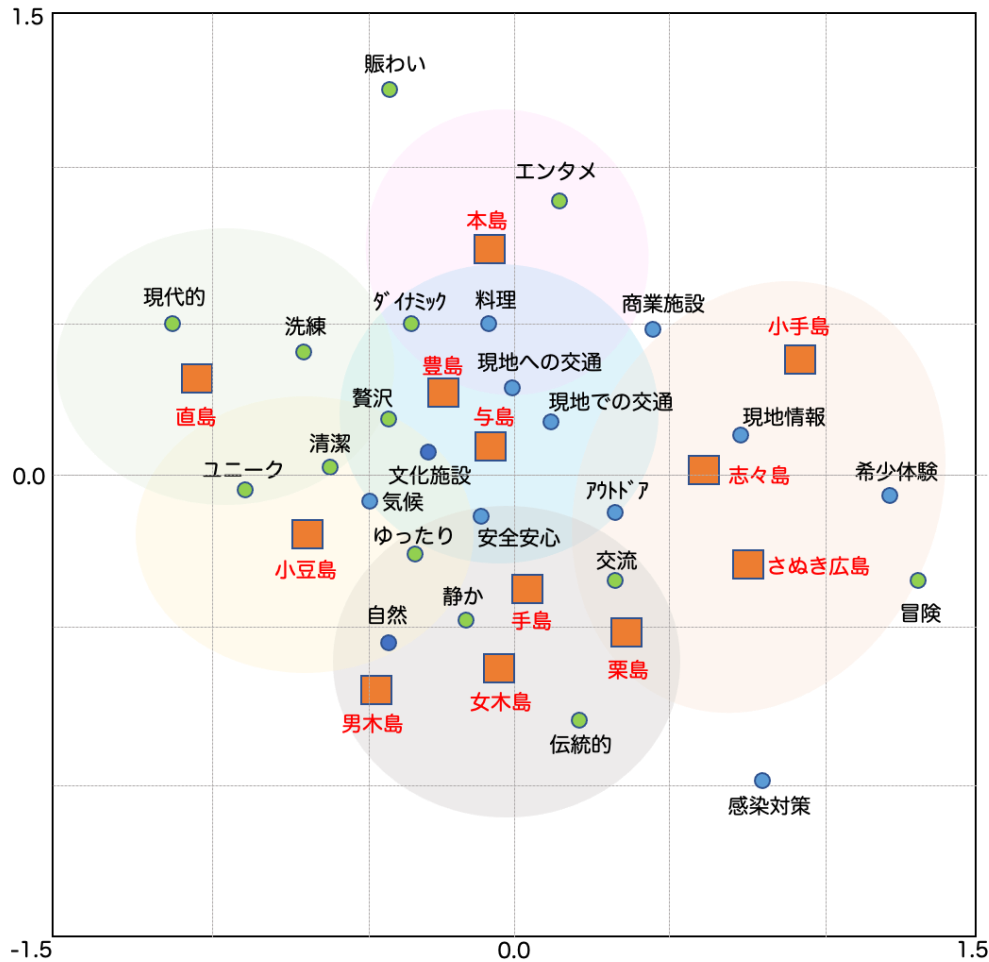


# ターゲット地域のイメージ体系

(数字は%を示す)

	直島	小豆島	男木島	女木島	豊島	手島	与島	さぬき広島	本島	小手島	栗島	志々島	
認知的 評価	自然	12.7	15.8	15.4	15.2	11.4	12.8	12.5	11.7	11.5	10.8	14.0	12.3
	文化施設	5.3	5.6	7.3	4.6	4.2	2.6	5.8	5.9	5.7	5.4	5.3	5.4
	商業施設	2.3	3.1	2.1	4.4	5.4	3.5	3.7	3.9	3.7	5.7	2.8	3.6
	エンタメ	3.6	2.6	2.7	3.6	2.6	7.0	3.7	3.6	5.4	4.7	3.4	4.7
	良い気候	7.4	9.4	9.0	10.4	7.8	7.8	9.2	7.8	7.1	4.0	8.7	6.9
	現地情報	2.8	3.6	3.3	2.2	2.8	2.9	3.9	5.9	2.7	4.4	2.8	4.3
	アウトドア	2.0	2.2	2.3	2.6	3.2	2.3	2.3	3.9	3.7	2.0	4.7	3.3
	感染症対策	1.5	2.0	1.5	2.6	2.4	2.6	1.6	2.9	2.0	2.0	1.9	4.3
	希少体験	2.5	1.5	5.0	3.6	5.6	5.2	4.4	3.3	4.7	4.4	6.2	5.8
	現地への交通	2.3	3.2	1.9	2.4	2.8	1.2	3.2	2.9	3.0	3.7	2.8	2.5
	現地での交通	1.0	2.1	1.7	2.6	1.6	1.2	2.5	1.6	2.7	2.7	1.2	0.7
	料理	3.8	5.4	2.7	3.4	4.4	4.9	3.7	4.9	4.1	4.4	2.8	4.3
	安心・安全	3.1	4.7	3.6	3.2	3.2	4.3	5.0	3.6	2.7	3.7	2.8	2.2
情緒的 評価	交流	3.4	3.0	4.6	7.4	6.0	4.3	3.9	5.9	5.4	6.1	5.9	5.4
	にぎわい	3.4	3.3	1.9	2.0	1.4	2.6	3.5	2.0	6.0	2.7	1.9	3.3
	冒険	1.0	1.4	2.1	2.6	2.0	2.3	2.5	2.9	1.7	3.7	2.8	2.5
	ユニーク	4.7	2.0	3.4	3.2	3.8	4.3	2.1	5.2	3.4	1.0	2.2	1.8
	ダイナミック	1.7	1.4	1.9	2.0	1.8	2.3	2.3	1.0	3.4	1.3	2.8	2.2
	洗練	2.7	2.4	1.3	1.8	2.0	1.2	2.5	1.6	2.4	2.0	1.6	1.4
	現代的	4.0	1.4	1.7	1.6	2.2	2.6	2.1	1.6	2.0	1.0	0.9	1.1
	伝統的	1.7	3.7	2.5	2.4	3.0	2.0	2.1	3.9	2.0	1.7	3.4	2.5
	静かな	3.8	4.5	6.2	7.2	5.0	5.2	3.7	3.9	4.4	3.4	4.0	4.7
	ゆったり	5.6	6.6	6.7	7.2	6.2	5.2	6.0	5.5	4.1	6.1	5.6	6.5
	贅沢な	1.2	1.4	1.2	2.0	1.6	2.6	2.1	1.6	1.0	1.0	1.2	1.1
	清潔	10.9	9.2	7.5	6.4	7.6	6.9	6.0	5.9	7.1	6.0	8.1	6.9

# ターゲット地域のイメージ・マップ



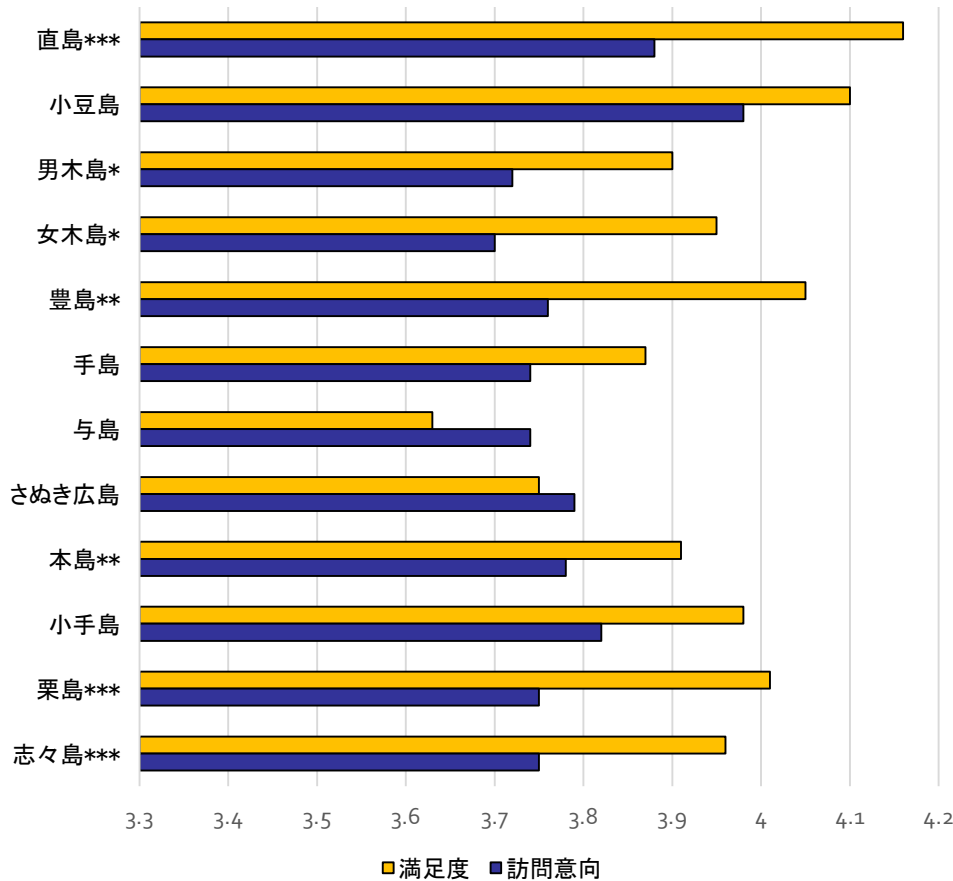
- ターゲット地域の各島のイメージ体系をより精巧に規定するべく、数量化モデルに基づき、イメージ・ポジショニングを行った。
- 島と近い距離にあるイメージ項が関連性の強いものになっており、当該島のイメージを規定するものであるともいえる。



## ターゲット地域のイメージ

- **本島**は、情緒的評価の「エンタメ」「ダイナミック」、認知的評価の「料理」「現地への交通」と強く関連していた。
- 特に、「エンタメ」の意味に関する解釈により戦略的価値は伸縮する可能性がある。
- **さぬき広島**や**志々島**、**小手島**が位置しているマップの右端の領域は「冒険」「アウトドア」「希少体験」のような刺激動因と関連するイメージ項目が多く分布している。
- 現在はコロナ禍の影響により相対的重要度は低下しているものの、今後、観光地としての訴求力確保に貢献する要素になる可能性もあると考えられる。
- **栗島**は**手島**と「交流」を、女木島と「伝統的」イメージを共有している。
- また、手島は安全動因に関連する要素を持っており、与島と「安心・安全」を共有している。
- 豊島と**与島**には、情緒的評価の「ダイナミック」「贅沢」が関連しているのに加え、「料理」「現地への交通」「現地での交通」「文化施設」「安全・安心」「良い気候」「アウトドア」など、認知的評価に属するイメージ項を幅広くカバーし、強く関連していた。
- 直島は、情緒的評価の「現代的」「清潔」「洗練」「ユニーク」「贅沢」と強く関連していた。
- 小豆島は、情緒的評価の「清潔」「ユニーク」「ゆったり」「静か」、認知的評価の「自然」「文化施設」「良い気候」「安全・安心」と強く関連しており、幅広いイメージ項をカバーしている。
- 男木島・女木島・手島は、情緒的評価に属する「伝統的」「静か」「ゆったり」、認知的評価の「安全・安心」「自然」を共有している。

# ターゲット地域の満足度及び訪問意向



- 全体的に訪問後の満足度に比べ、今後の再訪問意向が低水準となっており、満足度が再訪問を牽引するのに十分なインパクトをも持っていない可能性が考えられる。

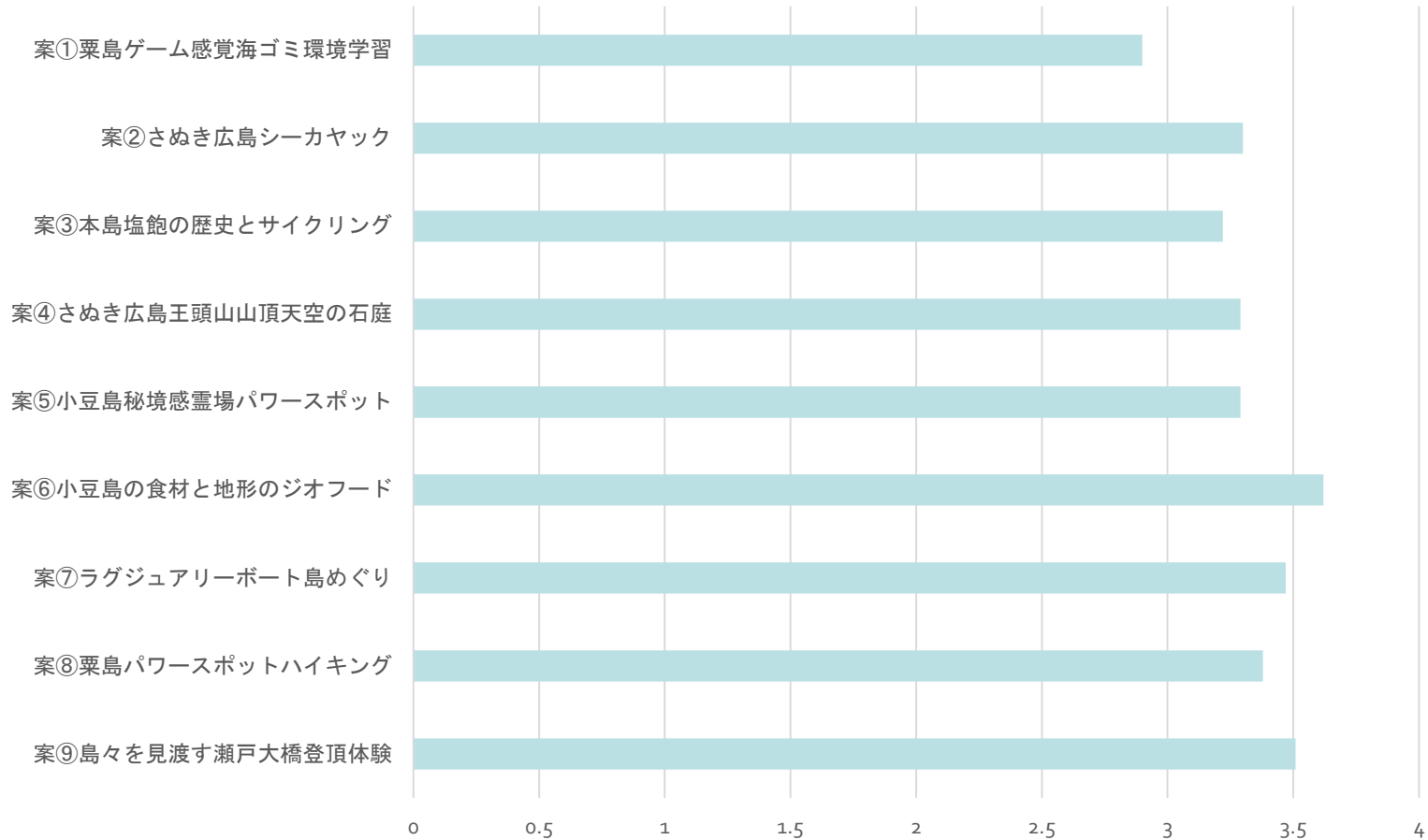


ただし、満足度はいずれの島においても一定水準に収斂されており、訪問意向についても水準そのものは満足度に比べ相対的に低かったものの、同様の傾向となっている。

\*は10%水準で有意、\*\*は5%水準で有意、\*\*\*は1%水準で有意を示している。



## 参加意向



- 全体的に一定水準の評価
- 案⑥「小豆島の食材と地形のジオフード」に対する評価が最も高く、
- 案①「粟島ゲーム感覚海ゴミ環境学習」に対する評価が最も低かった。
- 刺激動因と関連する案②「さぬき広島シーカヤック」、案⑨「瀬戸大橋登頂体験」が比較的高い水準で評価されている。

今後、主要ターゲット層のニーズや嗜好に基づき、ヒーリングや健康関連旅行商品、様々な貢献活動の要素を取り入れたプログラムなど、より能動的できめ細かくカスタマイズされた旅行商品を開発する必要がある。

一方で、後続変数に対する幅広い影響力を持っている情緒的評価は、他の評価項目に比べて相対的に低い水準へ収斂されており、これらの評価を向上させるための施策を見出すことを今後の発展的課題として取り組むべきであると考えられる。

今後、各島において既に確立している肯定的なイメージを補完しつつ、高い競争力を持ち、かつ明確に差別化された地域ブランドを構築するための戦略的ポジショニングを行う必要がある。

全体的に、複数の島間で共有されるイメージが多く分布しており、各島のアイデンティティを地域マーケティングやブランディングなど、戦略的ツールとして活用するにおいて一定の限界を露呈しているものの、今後、各地域が保有する地域資源を見極め、当該地域を規定する差別的要素を見出すことに持続的に取り組むことで、観光行動を誘引する識別要素としての地域イメージを構築することが可能になると考えられる。



## 4. 讃岐広島での地域づくりの担い手と 地域意識の醸成

# 讃岐広島での地域づくりの 担い手と地域意識の醸成

佐藤 勝典・西村 美樹



# 讃岐広島の現状とねらい

## ▶ ○地域の現状

- ▶ ・人口減少・高齢化
- ▶ ・島内交通インフラが乏しい
- ▶ ・石材産業
- ▶ ・観光⇒受け皿が乏しい

## ▶ ○地域の資源

- ▶ ・自然+歴史
- ▶ 王頭山
- ▶ ・尾上邸、ほとり
- ▶ ・石切り場

## ▶ ○地域の人材

- ▶ ・NPO、平井氏
- ▶ 「地域おこし協力隊を入れたい」
- ▶ 「地域おこし協力隊が2, 3名入ってきたら積極支援」(R3/12/9 平井氏)
- ▶ →市長の協力得られるか？競艇があり全額補助にならないことが難点
- ▶ (競艇があっても倉敷市などは地域おこし協力隊を受け入れている)



## ▶ ○ねらい

- ▶ 丸亀市に提案する地域おこし協力隊導入の「独自案」を島でつくっていく
- ▶ =島のやる気を丸亀市に示す
- ▶ R5年着任？「独自案」が動き始める4年目(2023年)がゴール
- ▶ 地域おこし協力隊 大三島(今治市)が活用
- ▶ 島民による先進地(しまなみ)訪問
- ▶ 先進地訪問は平井氏、山田センター長に周知済み
- ▶ ・現地訪問(自治会のチャーター船で行く)
- ▶ ・島に戻ってワークショップを実施することが重要
- ▶ 意欲の換気、合意形成、
- ▶ 各自治会、婦人会、石材組合などの意見

# 讃岐広島の分析（地域づくりの組織論モデル（佐藤、2012））

①実践コミュニティを中心として、リーダーシップ、ソーシャル・キャピタルの観点から分析する⇒地域のリーダー平井氏のもとに、地域づくりの実践コミュニティがある、平井氏と同年代以上の参加者が多く限定された実践コミュニティになっている。

②地域資源、地域のおかれている環境、リーダーシップの特質や形態、リーダーの意思決定の理由を検討する⇒平井氏の意思決定は島内の様々な事情をくみ取って総合的に地域の活動を判断している。

③地域づくりは環境要因だけでなく、リーダーによる戦略的選択があり複数の選択肢が存在する⇒讃岐広島の環境要因を分析から、平井氏は地域づくりの方針について様々な選択肢を持っているが、「地域に若者を入れる方法」を選択している。

④Miles and Snowが論じているように一貫性が地域づくりに必要である⇒平井氏には、『讃岐広島へ地域おこし協力隊を受け入れて、移住した若者に地域づくりを託して、自らは後方支援に徹する』という一貫性がある。

⑤戦略的選択として一貫性のデザインが必要である。地域づくりには絶対的な正解はない、地域のリーダーシップの特性に合った組み合わせを探す⇒平井氏ら讃岐広島の住民が地域おこし協力隊が活動しやすいように地域をデザインする必要がある。

⑥地域資源を生かした、地域再生を行う自発的なコミュニティ活動の活性化につながる⇒讃岐広島が地域資源を生かした、地域づくりを行い、自発的なコミュニティ活動ができるように本共同研究としては支援する。



# 【地域おこし協力隊を受け入れ体制構築のための住民意識の醸成（スケジュール）】

- ▶ ・ **先進地の島民研修**（連合自治会など）（R4年10月上旬）1～2週間後にワークショップを実施
- ▶ ・ 受け入れ体制を作るための**ワークショップの実施**（大学主体で参加を促進）（10月下旬）
  - ▶ →島の若い世代の参加の促進
- ▶ ・ ワorkshopで出てきた課題を**グループワークで検討**（11月）
  - ▶ →グループワークのリーダーを若い世代に願います
- ▶ ・ グループリーダーだけで集めて討議し**島の活性化プラン**をまとめる（12, R5年1月）
- ▶ ・ プランを自治会等で説明する。（1月中旬）→その場でまた討議する。（大学がサポート）
- ▶ ・ プランが出来上がる。（2月中旬）
- ▶ ・ このプランをもって**地域おこし協力隊の申請**について丸亀市に上程する。（3月下旬）
  - ▶ （島民研修の時期により予定が繰り下がる可能性あり）
- ▶ ◇新しい人をどのように受け入れていくか？
  - ▶ →島と外の人のお見合いのプロセスをつくる

## 5. 島旅活性化の成果のまとめ 及び今後の方向性



# 2021年度のFAMの成果

コロナ禍におけるFAMの実施→一定の成果

## 1) 食文化

食のメニュー開発  
ジオフード、

## 2) 自然環境

王頭山、  
シーカヤック、サイクリング、  
環境学習、

## 3) 歴史資源

古民家の活用、



# ジオフード



- 香川大学長谷川修一教授(ジオ)と食の専門家西村美樹特命講師(フード)のコラボ
- 専門的知識をいかに一般の人に楽しく伝えるか
- ジオの知識を普及したい
- ジオパーク構想、防災対応、
- 観光の付加価値化
- 観光の牽引力としての食
- 食体験を深いものにグレードアップ
- 食のオーセンティシティ(真正性); 地域ならではの
- ジオ(知的経験)と食(直感経験)をつなぐストーリー性





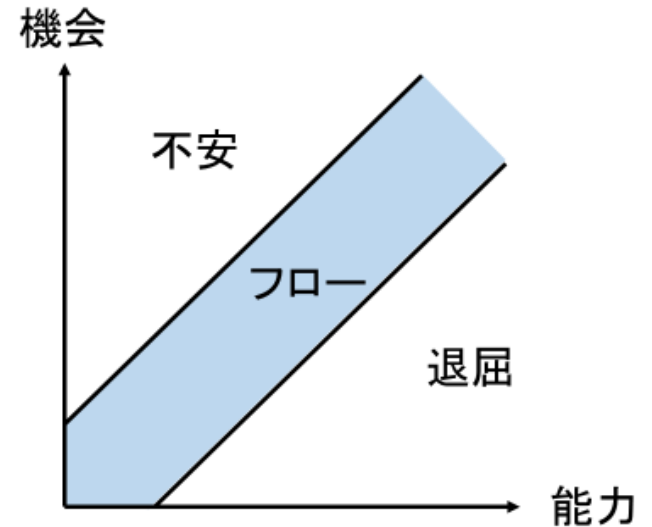
# 教育と観光



- これまで深く連携できていなかった教育と観光
- 大きな可能性あるフロンティア
- 2020年度の地域マネジメント研究科の日帰り合宿
- 県内の人にも訪問経験の少ない本島、讃岐広島、
- →初めて知って実感した島の価値と地域課題
- 本格的な観光は道が遠いが、若い人との交流はしたい島民
- 高校における「総合的な探求」: 地域現場での主体的学習
- 修学旅行の脱団体旅行化・分散化、体験学習重視: 市場の存在
- 教育関係者と観光事業者が相互に学習する場が必要
- →教育関係者向けFAMの実施
- 地域マネジメント研究科には過去4年間、
- 毎年、高校教員や教育委員会など教育関係者が入学

# フロー経験と島旅

- 観光にはリピーター確保が重要
- 調査結果では満足度に比べ再訪問意向が弱い
- リピーターになるのは、旅に満足した時ではなく、
- 特別な経験、個人的な経験をした時
- どんな経験か？
- チクセントミハイ教授が言う「フロー」
- 「時を忘れるほど、自分がしていることに
- 完全に集中している(没頭している)状態」
- 空腹を忘れ創作に没頭する画家の例
- ポジティブ心理学、人材育成
- →近年、観光への応用



出典: Nakamura and Csikszentmihalyi(2002)  
を元に筆者作成



TEDトークでのチクセントミハイ氏

出典:

[https://www.ted.com/talks/mihaly\\_csikszentmihalyi\\_flow\\_the\\_secret\\_to\\_happiness?language=en](https://www.ted.com/talks/mihaly_csikszentmihalyi_flow_the_secret_to_happiness?language=en)

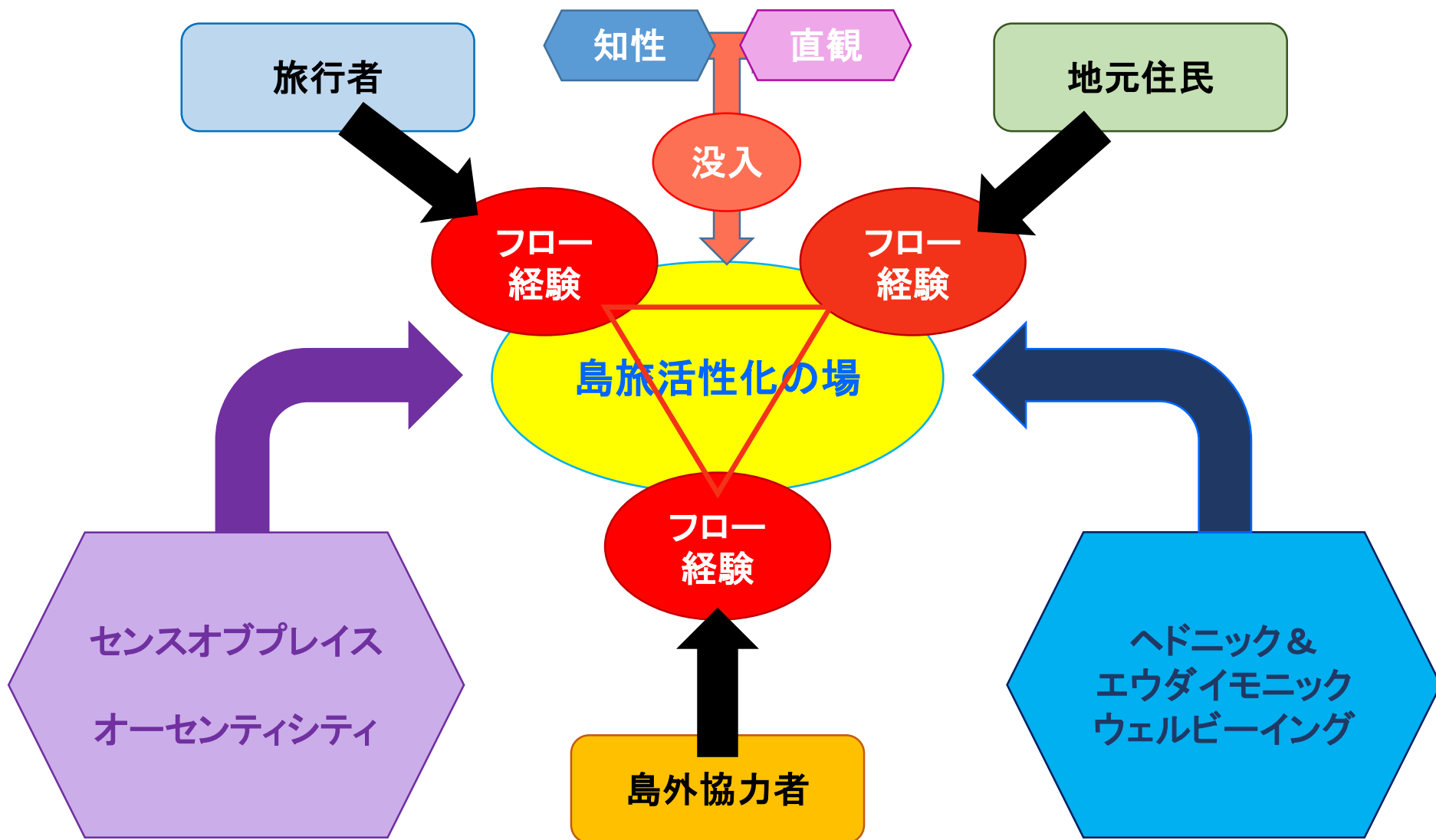


# 観光とエウダイモニックなウェルビーイング

- 観光におけるウェルビーイングへの注目
- クラブツーリズム株式会社の例など
- <https://team.expo2025.or.jp/ja/challenge/408>
- <https://genic-web.com/articles/424297>
- **ウェルビーイング**: 健康で幸福だと感じる状態
- the state of feeling healthy and happy WEB版ケンブリッジ辞書
- <https://dictionary.cambridge.org/ja/dictionary/english/well-being>
- 2つのウェルビーイング Ryan and Deci(2001)
- アリストテレスなどギリシャ文化に源流を持つ
- 1) ヘドニック・ウェルビーイング
- 快楽主義、楽しさ・喜び(pleasure)、苦痛の回避、短期的
- 2) **エウダイモニック**・ウェルビーイング
- 幸福主義、意味(meaning)と自己実現、人が十分に機能しているか、中長期的
- 観光に応用したポジティブ・ツーリズム
- Filep, Laing and Csikszentmihalyi(2017)
- 観光におけるエウダイモニックな観光経験の推奨
- Filep and Laing(2018)



# 島旅活性化におけるトライアングル・フロー経験とウェルビーイング



ご清聴ありがとうございました。